



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和5年度
八代海岸保全事業
昭和工区堤防補強工事

積 算 書

(当初)

九州農政局
八代海岸保全事業所

事業名	八代海岸保全事業	相見登観 (1/ 2)
工事名	昭和工区堤防補強工事	

[illegible]

九州農政局

九州農政局

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			90,030,000	
・工事原価			76,485,000	
純工事費			60,073,000	
・直接工事費			49,585,000	
・直接工事費(仮設工を除く)	1.000	式	49,585,000	
・直接工事費(仮設工)	1.000	式	0	
・間接工事費			26,900,000	
・共通仮設費			10,488,000	
・事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・運搬費～営繕費等				
$49,585,000 \times ((8.210 \times 1.000) \times 1.100 \times 1.020 \times 1.000)$			4,567,000	
・運搬費	1.000	式	5,246,000	
・準備費	1.000	式	0	
・安全費	1.000	式	0	
・役務費	1.000	式	0	
・技術管理費	1.000	式	246,000	
・営繕費等	1.000	式	0	
・現場環境改善費			429,000	
・現場環境改善費(率計上)				
$48,753,000 \times (0.880)$			429,000	
・現場環境改善費(積上)	1.000	式	0	
・現場管理費			16,412,000	
・現場管理費(率計上)				
$60,073,000 \times ((23.650 \times 1.000) \times 1.100 \times 1.050 \times 1.000 + 0.000 + 0.000 - 0.000)$			16,412,000	
・現場管理費(積上)	1.000	式	0	
・現場管理費(一般管理費率対象外)	1.000	式	0	
・工期延長に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・官賃額(直工)	1.000	式	0	
・官賃額(事業損失防止)	1.000	式	0	
・官賃額(直工・事業損失防止除く)	1.000	式	0	
・一般管理費等				
$76,485,000 \times (17.680 \times 1.000 + 0.04)$			13,553,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費(直工・事業損失防止)			0	
支給品費(直工)			0	
処分費等(直接工事費の内数)			832,000	
処分費(準備費の内数)			0	
処分費(事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等(率対象外)			0	

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工を除く)				49,585,000	
・土工	1.000	式		1,007,000	
・ ・掘削工	1.000	式		31,000	
000001 掘削	88.000	m3	350	30,800	歩A・単A B単 1号
合 計				30,800	
・ ・盛土工	1.000	式		243,000	
000002 路床盛土工 4.0m>B≧2.5m	151.000	m3	1,017	153,567	歩A・単A B単 2号
000003 路床盛土工 B≧4.0m	208.000	m3	428	89,024	歩A・単A B単 3号
合 計				242,591	
・ ・仮置土運搬	1.000	式		698,000	
000004 土砂等運搬 (改良土) 現場～仮置場	549.000	m3	942	517,158	歩A・単A B単 4号
000005 土砂等運搬 仮置場～現場	151.000	m3	1,196	180,596	歩A・単A B単 5号
合 計				697,754	
・ ・残土処理	1.000	式		35,000	
000006 残土処理	239.000	m3	145	34,655	歩A・単A B単 6号
合 計				34,655	
・ 構造物撤去工	1.000	式		2,010,000	
・ ・ 構造物撤去工	1.000	式		2,010,000	
000007 舗装版破碎 コンクリート舗装 t=10cm	735.000	m ²	215	158,025	歩A・単A B単 7号
000008 殻運搬 (天端コンクリート) コンクリート殻 (有筋)	36.000	m3	2,191	78,876	歩A・単A B単 8号
000009 殻運搬 (小段コンクリート) コンクリート殻 (有筋)	38.000	m3	3,569	135,622	歩A・単A B単 9号
000010 殻処理費 コンクリート殻 (有筋)	74.000	m3	6,250	462,500	歩A・単A B単 10号
000011 コンクリート構造物取壊し 張ブロック	68.000	m3	8,032	546,176	歩A・単A B単 11号
000012 殻運搬 コンクリート殻 (無筋)	68.000	m3	1,503	102,204	歩A・単A B単 12号
000013 殻処理費 コンクリート殻 (無筋)	68.000	m3	4,700	319,600	歩A・単A B単 13号
000014 コンクリート構造物取壊し 側溝・横断水路・水路蓋	8.000	m3	16,020	128,160	歩A・単A B単 14号
000015 殻運搬 コンクリート殻 (有筋)	8.000	m3	3,569	28,552	歩A・単A B単 15号
000016 殻処理費 コンクリート殻 (有筋)	8.000	m3	6,250	50,000	歩A・単A B単 16号
合 計				2,009,715	
・ 地盤改良工	1.000	式		34,792,000	
・ ・ 地盤改良工	1.000	式		34,792,000	
000017 地盤改良工 削孔長φ1000mm H=12.9m (二軸施工)	318.000	本	109,410	34,792,380	歩A・単A B単 17号
合 計				34,792,380	
・ 護岸工	1.000	式		232,000	
・ ・ 作業土工	1.000	式		232,000	
000018 床掘	98.000	m3	277	27,146	歩A・単A B単 18号
000019 埋戻 B<1.0m	85.000	m3	2,067	175,695	歩A・単A B単 19号

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
000020 基面整正	65.000	m ²	414	26,910	歩A・単A B単 20号
000021 土砂等運搬 現場～仮置場	4.000	m ³	374	1,496	歩A・単A B単 21号
000022 残土処理	4.000	m ³	145	580	歩A・単A B単 22号
合 計				231,827	
・裏法面被覆工	1.000	式		8,839,000	
・・張ブロック工	1.000	式		6,444,000	
000023 張ブロック t=10cm	610.000	m ²	8,658	5,281,380	歩A・単A B単 23号
000024 裏込工 再生クラッシャーレン RC-40 t=30cm	610.000	m ²	1,596	973,560	歩A・単A B単 24号
000025 張コンクリート 18-8-25BB t=5cm	65.000	m ²	1,307	84,955	歩A・単A B単 25号
000026 裏込工 再生クラッシャーレン RC-40 t=30cm	65.000	m ²	1,596	103,740	歩A・単A B単 26号
合 計				6,443,635	
・・基礎コンクリート工	1.000	式		1,039,000	
000027 コンクリート打設 18-8-40BB	16.000	m ³	26,130	418,080	歩A・単A B単 27号
000028 型枠工 一般型枠	57.000	m ²	8,734	497,838	歩A・単A B単 28号
000029 目地板 エラストックファイラー t=10mm	2.000	m ²	3,650	7,300	歩A・単A B単 29号
000030 基礎碎石 再生クラッシャーレン RC-40 t=15cm	65.000	m ²	1,367	88,855	歩A・単A B単 30号
000031 基面整正	65.000	m ²	414	26,910	歩A・単A B単 31号
合 計				1,038,983	
・・天端コンクリート工	1.000	式		795,000	
000032 コンクリート打設 18-8-40BB	8.000	m ³	33,700	269,600	歩A・単A B単 32号
000033 型枠工 一般型枠	57.000	m ²	7,895	450,015	歩A・単A B単 33号
000034 目地板 エラストックファイラー t=10mm	2.000	m ²	3,650	7,300	歩A・単A B単 34号
000035 基礎碎石 再生クラッシャーレン RC-40 t=15cm	50.000	m ²	1,367	68,350	歩A・単A B単 35号
合 計				795,265	
・・帯コンクリート工	1.000	式		561,000	
000036 コンクリート打設 18-8-25BB	3.900	m ³	37,900	147,810	歩A・単A B単 36号
000037 型枠工 一般型枠	39.000	m ²	7,895	307,905	歩A・単A B単 37号
000038 基礎碎石 再生クラッシャーレン RC-40 t=15cm	26.000	m ²	1,367	35,542	歩A・単A B単 38号
000039 鉄筋工 SD295 D13	0.386	ton	180,433	69,647	歩A・単A B単 39号
合 計				560,904	
・被覆工	1.000	式		2,705,000	
・・被覆工 天端舗装工 (As舗装)	1.000	式		881,000	
000040 表層 再生密粒度アスコン13 t=3cm	368.000	m ²	1,343	494,224	歩A・単A B単 40号
000041 路盤工 再生クラッシャーレン RC-40 t=23cm	368.000	m ²	1,050	386,400	歩A・単A B単 41号
合 計				880,624	
・・被覆工 小段舗装工 (As舗装)	1.000	式		1,256,000	
000042 表層 再生密粒度アスコン13 t=3cm	525.000	m ²	1,343	705,075	歩A・単A B単 42号

九州農政局

九州農政局

九州農政局

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
000001	*** B単－ 1号 *** 掘削					
			m3	350		歩A・単A
000002	*** B単－ 2号 *** 路床盛土工					
	4.0m>B≥2.5m		m3	1,017		歩A・単A
000003	*** B単－ 3号 *** 路床盛土工					
	B≥4.0m		m3	428		歩A・単A
000004	*** B単－ 4号 *** 土砂等運搬 (改良土)					
	現場～仮置場		m3	942		歩A・単A
000005	*** B単－ 5号 *** 土砂等運搬					
	仮置場～現場		m3	1,196		歩A・単A
000006	*** B単－ 6号 *** 残土処理					
			m3	145		歩A・単A
000007	*** B単－ 7号 *** 舗装版破砕					
	コンクリート舗装 t=10cm		m ²	215		歩A・単A
000008	*** B単－ 8号 *** 殻運搬 (天端コンクリート)					
	コンクリート殻 (有筋)		m3	2,191		歩A・単A
000009	*** B単－ 9号 *** 殻運搬 (小段コンクリート)					
	コンクリート殻 (有筋)		m3	3,569		歩A・単A
000010	*** B単－ 10号 *** 殻処理費					
	コンクリート殻 (有筋)		m3	6,250		歩A・単A
000011	*** B単－ 11号 *** コンクリート構造物取壊し					
	張ブロック		m3	8,032		歩A・単A
000012	*** B単－ 12号 *** 殻運搬					
	コンクリート殻 (無筋)		m3	1,503		歩A・単A
000013	*** B単－ 13号 *** 殻処理費					
	コンクリート殻 (無筋)		m3	4,700		歩A・単A
000014	*** B単－ 14号 *** コンクリート構造物取壊し					
	側溝・横断水路・水路蓋		m3	16,020		歩A・単A
000015	*** B単－ 15号 *** 殻運搬					
	コンクリート殻 (有筋)		m3	3,569		歩A・単A
000016	*** B単－ 16号 *** 殻処理費					
	コンクリート殻 (有筋)		m3	6,250		歩A・単A
000017	*** B単－ 17号 *** 地盤改良工					
	削孔長φ1000mm H=12.9m (二軸施工)		本	109,410		歩A・単A
000018	*** B単－ 18号 *** 床掘					
			m3	277		歩A・単A
000019	*** B単－ 19号 *** 埋戻					
	B<1.0m		m3	2,067		歩A・単A
000020	*** B単－ 20号 *** 基面整正					
			m ²	414		歩A・単A
000021	*** B単－ 21号 *** 土砂等運搬					
	現場～仮置場		m3	374		歩A・単A
000022	*** B単－ 22号 *** 残土処理					

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
			m ³	145		歩A・単A
000023	*** B単ー 23号 *** 張ブロック					
	t=10cm		m ²	8,658		歩A・単A
000024	*** B単ー 24号 *** 裏込工					
	再生クラッシャー RC-40 t=30cm		m ²	1,596		歩A・単A
000025	*** B単ー 25号 *** 張コンクリート					
	18-8-25BB t=5cm		m ²	1,307		歩A・単A
000026	*** B単ー 26号 *** 裏込工					
	再生クラッシャー RC-40 t=30cm		m ²	1,596		歩A・単A
000027	*** B単ー 27号 *** コンクリート打設					
	18-8-40BB		m ³	26,130		歩A・単A
000028	*** B単ー 28号 *** 型枠工					
	一般型枠		m ²	8,734		歩A・単A
000029	*** B単ー 29号 *** 目地板					
	エラストックファイター t=10mm		m ²	3,650		歩A・単A
000030	*** B単ー 30号 *** 基礎碎石					
	再生クラッシャー RC-40 t=15cm		m ²	1,367		歩A・単A
000031	*** B単ー 31号 *** 基面整正					
			m ²	414		歩A・単A
000032	*** B単ー 32号 *** コンクリート打設					
	18-8-40BB		m ³	33,700		歩A・単A
000033	*** B単ー 33号 *** 型枠工					
	一般型枠		m ²	7,895		歩A・単A
000034	*** B単ー 34号 *** 目地板					
	エラストックファイター t=10mm		m ²	3,650		歩A・単A
000035	*** B単ー 35号 *** 基礎碎石					
	再生クラッシャー RC-40 t=15cm		m ²	1,367		歩A・単A
000036	*** B単ー 36号 *** コンクリート打設					
	18-8-25BB		m ³	37,900		歩A・単A
000037	*** B単ー 37号 *** 型枠工					
	一般型枠		m ²	7,895		歩A・単A
000038	*** B単ー 38号 *** 基礎碎石					
	再生クラッシャー RC-40 t=15cm		m ²	1,367		歩A・単A
000039	*** B単ー 39号 *** 鉄筋工					
	SD295 D13		ton	180,433		歩A・単A
000040	*** B単ー 40号 *** 表層					
	再生密粒度アスコ13 t=3cm		m ²	1,343		歩A・単A
000041	*** B単ー 41号 *** 路盤工					
	再生クラッシャー RC-40 t=23cm		m ²	1,050		歩A・単A
000042	*** B単ー 42号 *** 表層					
	再生密粒度アスコ13 t=3cm		m ²	1,343		歩A・単A
000043	*** B単ー 43号 *** 路盤工					
	再生クラッシャー RC-40 t=23cm		m ²	1,050		歩A・単A

九州農政局

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** B単一 1号 ***					
000001	掘削		m3		1,000	歩A 当たり算出
S86801	SP【被災地】掘削 土砂,ポンカ外,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-	1,000	m3	350.4	350	S単 19号
	合 計				350	
	単 価				350	
	*** B単一 2号 ***					
000002	路床盛土工 4.0m>B≥2.5m		m3		1,000	歩A 当たり算出
S86804	SP【被災地】路床盛土 2.5m以上4.0m未満,-,-,なし	1,000	m3	1,017	1,017	S単 22号
	合 計				1,017	
	単 価				1,017	
	*** B単一 3号 ***					
000003	路床盛土工 B≥4.0m		m3		1,000	歩A 当たり算出
S86804	SP【被災地】路床盛土 4.0m以上,20,000m3未満,無し,なし	1,000	m3	428	428	S単 23号
	合 計				428	
	単 価				428	
	*** B単一 4号 ***					
000004	土砂等運搬(改良土) 現場～仮置場		m3		1,000	歩A 当たり算出
S86802	SP【被災地】積込(ルーズ) 土砂,平均施工幅1m以上2m未満	1,000	m3	308.7	309	S単 20号
SA0121	SP 土砂等運搬 標準,ハック山積0.45m3(平積0.35m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.5km以下	1,000	m3	633.1	633	S単 26号
	合 計				942	
	単 価				942	
	*** B単一 5号 ***					
000005	土砂等運搬 仮置場～現場		m3		1,000	歩A 当たり算出
S86802	SP【被災地】積込(ルーズ) 土砂,土量50,000m3未満	1,110	m3	253.8	282	S単 21号
S01032	ダンプトラック運搬(特殊) 土砂,4.0,1.0km以下,山0.80(平0.60)m3,無し,良好	1,110	m3	823	914	S単 1号
	合 計				1,196	
	単 価				1,196	
	*** B単一 6号 ***					
000006	残土処理		m3		1,000	歩A 当たり算出
S86805	SP【被災地】整地 残土受入れ地での処理,-,-,なし	1,000	m3	144.5	145	S単 24号
	合 計				145	
	単 価				145	
	*** B単一 7号 ***					
000007	舗装版破碎 コンクリート舗装 t=10cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0222	SP 舗装版破碎 コンクリート舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有,なし	1,000	m ²	215.4	215	S単 31号
	合 計				215	

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価				215	
	*** B単－ 8号 ***					
000008	殻運搬 (天端コンクリート)					歩A
	コンクリート殻 (有筋)		m3		1,000 m3	当たり算出
S01032	ダンプトラック運搬 (特殊)					
	土砂,4.0,7.0km以下,山0.45(平0.35)m3,無し,良好	1,000	m3	2,191	2,191	S単 2号
	合 計				2,191	
	単 価				2,191	
	*** B単－ 9号 ***					
000009	殻運搬 (小段コンクリート)					歩A
	コンクリート殻 (有筋)		m3		1,000 m3	当たり算出
SA0221	SP 殻運搬					
	舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,11.5km以下,	1,000	m3	3,569	3,569	S単 29号
	合 計				3,569	
	単 価				3,569	
	*** B単－ 10号 ***					
000010	殻処理費					歩A
	コンクリート殻 (有筋)		m3		1,000 m3	当たり算出
S02123	建設廃材					
	鉄筋コンクリート廃材	1,000	m3	6,250	6,250	S単 11号
	合 計				6,250	
	単 価				6,250	
	*** B単－ 11号 ***					
000011	コンクリート構造物取壊し					歩A
	張ブロック		m3		1,000 m3	当たり算出
S02721	【構造物取壊し】					
	無筋,なし,機械,昼間施工,しない	1,000	m3	8,032	8,032	S単 13号
	合 計				8,032	
	単 価				8,032	
	*** B単－ 12号 ***					
000012	殻運搬					歩A
	コンクリート殻 (無筋)		m3		1,000 m3	当たり算出
SA0221	SP 殻運搬					
	コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,8.0km以下,	1,000	m3	1,503	1,503	S単 30号
	合 計				1,503	
	単 価				1,503	
	*** B単－ 13号 ***					
000013	殻処理費					歩A
	コンクリート殻 (無筋)		m3		1,000 m3	当たり算出
S02123	建設廃材					
	無筋コンクリート廃材	1,000	m3	4,700	4,700	S単 12号
	合 計				4,700	
	単 価				4,700	
	*** B単－ 14号 ***					
000014	コンクリート構造物取壊し					歩A
	側溝・横断水路・水路蓋		m3		1,000 m3	当たり算出
S02721	【構造物取壊し】					
	有筋,なし,機械,昼間施工,しない	1,000	m3	16,020	16,020	S単 14号
	合 計				16,020	
	単 価				16,020	

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** B単一 15号 ***					
000015	殻運搬 コンクリート殻(有筋)		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0221	SP 殻運搬 舗装版破砕,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,11.5km以下,	1,000	m3	3,569	3,569	S単 29号
	合 計				3,569	
	単 価				3,569	
	*** B単一 16号 ***					
000016	殻処理費 コンクリート殻(有筋)		m3		1,000	歩A 当たり算出
S02123	建設廃材 鉄筋コンクリート廃材	1,000	m3	6,250	6,250	S単 11号
	合 計				6,250	
	単 価				6,250	
	*** B単一 17号 ***					
000017	地盤改良工 削孔長φ1000mm H=12.9m (二軸施工)		本		1,000	歩A 当たり算出
S04031	スラリー攪拌工 二軸施工,12m以上 15m未満,1000,10mを超え20m以下,11.5m,0.15	1,000	本	109,410	109,410	S単 16号
	合 計				109,410	
	単 価				109,410	
	*** B単一 18号 ***					
000018	床掘		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し,なし	1,000	m3	277	277	S単 25号
	合 計				277	
	単 価				277	
	*** B単一 19号 ***					
000019	埋戻 B<1.0m		m3		1,000	歩A 当たり算出
S01041	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,締固めを計上しない	1,000	m3	1,408	1,408	S単 3号
S86102	【被災地】締固工(振動ロ-締固め2.5m未満) 築堤・埋戻,0.8~1.1ton,なし	1,000	m3	659	659	S単 18号
	合 計				2,067	
	単 価				2,067	
	*** B単一 20号 ***					
000020	基面整正		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0151	SP 基面整正 基面整正	1,000	m ²	414.2	414	S単 28号
	合 計				414	
	単 価				414	
	*** B単一 21号 ***					
000021	土砂等運搬 現場~仮置場		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0121	SP 土砂等運搬 標準,ハッパ初山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.3km以下	1,000	m3	374.1	374	S単 27号
	合 計				374	

事業名	八代海岸保全事業				
工事名	昭和工区堤防補強工事				

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価				374	
	*** B単一 22号 ***					
000022	残土処理		m3		1,000	歩A 当たり算出
S86805	SP【被災地】整地 残土受入れ地での処理,-,-,なし	1.000	m3	144.5	145	S単 24号
	合 計				145	
	単 価				145	
	*** B単一 23号 ***					
000023	張ブロック t=10cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
S02024	張ブロック工(空張) 目地材を使用しない場合,厚さ10cm,なし	1.000	m ²	8,658	8,658	S単 4号
	合 計				8,658	
	単 価				8,658	
	*** B単一 24号 ***					
000024	裏込工 再生クラッシャー RC-40 t=30cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
S02029	裏込工(ブロック張) 再生クラッシャー(RC-40),なし	0.300	m3	5,319	1,596	S単 5号
	合 計				1,596	
	単 価				1,596	
	*** B単一 25号 ***					
000025	張コンクリート 18-8-25BB t=5cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリートポン車打設,計上する,10m3以上100m3未満,一般養生, 延長無し,-,-,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%	0.050	m3	26,130	1,307	S単 33号
	合 計				1,307	
	単 価				1,307	
	*** B単一 26号 ***					
000026	裏込工 再生クラッシャー RC-40 t=30cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
S02029	裏込工(ブロック張) 再生クラッシャー(RC-40),なし	0.300	m3	5,319	1,596	S単 5号
	合 計				1,596	
	単 価				1,596	
	*** B単一 27号 ***					
000027	コンクリート打設 18-8-40BB		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリートポン車打設,計上する,10m3以上100m3未満,一般養生, 延長無し,-,-,18-8-40(高炉B) W/C65%	1.000	m3	26,130	26,130	S単 34号
	合 計				26,130	
	単 価				26,130	
	*** B単一 28号 ***					
000028	型枠工 一般型枠		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物	1.000	m ²	8,734	8,734	S単 37号

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計				8,734	
	単 価				8,734	
	*** B単一 29号 ***					
000029	目地板 エラストックファイラー t=10mm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0331	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(ゴム発泡体) t=10mm	1.000	m ²	3,650	3,650	S単 39号
	合 計				3,650	
	単 価				3,650	
	*** B単一 30号 ***					
000030	基礎碎石 再生クラッシャーラン RC-40 t=15cm		m ³		1,000	歩A 当たり算出
SA0301	SP 基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシャーラン RC-40 40~0mm	1.000	m ³	1,367	1,367	S単 32号
	合 計				1,367	
	単 価				1,367	
	*** B単一 31号 ***					
000031	基面整正		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0151	SP 基面整正 基面整正	1.000	m ²	414.2	414	S単 28号
	合 計				414	
	単 価				414	
	*** B単一 32号 ***					
000032	コンクリート打設 18-8-40BB		m ³		1,000	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,,18-8-40(高炉B) W/C65 %	1.000	m ³	33,700	33,700	S単 35号
	合 計				33,700	
	単 価				33,700	
	*** B単一 33号 ***					
000033	型枠工 一般型枠		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	1.000	m ²	7,895	7,895	S単 38号
	合 計				7,895	
	単 価				7,895	
	*** B単一 34号 ***					
000034	目地板 エラストックファイラー t=10mm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0331	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(ゴム発泡体) t=10mm	1.000	m ²	3,650	3,650	S単 39号
	合 計				3,650	
	単 価				3,650	
	*** B単一 35号 ***					
000035	基礎碎石 再生クラッシャーラン RC-40 t=15cm		m ³		1,000	歩A 当たり算出
SA0301	SP 基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシャーラン RC-40 40~0mm	1.000	m ³	1,367	1,367	S単 32号

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計				1,367	
	単 価				1,367	
	*** B単一 36号 ***					
000036	コンクリート打設 18-8-25BB		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 小型構造物,クルマ車打設,計上する, -, -, 一般養生, -, -, 高さ約17m以下, 水平距離約 17m以下, なし, 18-8-25(20)(高炉B) W/C65%	1.000	m3	37,900	37,900	S単 36号
	合 計				37,900	
	単 価				37,900	
	*** B単一 37号 ***					
000037	型枠工 一般型枠		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠, 小型構造物	1.000	m ²	7,895	7,895	S単 38号
	合 計				7,895	
	単 価				7,895	
	*** B単一 38号 ***					
000038	基礎碎石 再生クラッシャーラン RC-40 t=15cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0301	SP 基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下, 計上する, なし, 再生クラッシャーラン RC-40 40~0mm	1.000	m ²	1,367	1,367	S単 32号
	合 計				1,367	
	単 価				1,367	
	*** B単一 39号 ***					
000039	鉄筋工 SD295 D13		ton		1,000	歩A 当たり算出
S03701	【鉄筋工】 SD295, D13, 一般構造物, 10t未満, -, 無し, 一般構造物 (切梁無し), 10%未満	1.000	ton	180,433	180,433	S単 15号
	合 計				180,433	
	単 価				180,433	
	*** B単一 40号 ***					
000040	表層 再生密粒度75ㄖ13 t=3cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0843	SP 表層 (車道・路肩部) 3.0m超, 30mm, アスファルト混合物 I (2.35t/m3), プライムコート 各種, なし, 再生密粒度75 ㄖ(13)	1.000	m ²	1,343	1,343	S単 41号
	合 計				1,343	
	単 価				1,343	
	*** B単一 41号 ***					
000041	路盤工 再生クラッシャーラン RC-40 t=23cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0834	SP 上層路盤 (車道・路肩部) 路盤材, 路盤材 (各種) 砕石材, -, -, 2層施工, なし, 0mm, 230mm	1.000	m ²	1,050	1,050	S単 40号
	合 計				1,050	
	単 価				1,050	
	*** B単一 42号 ***					
000042	表層 再生密粒度75ㄖ13 t=3cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
SA0843	SP 表層 (車道・路肩部) 3.0m超,30mm,7スフィート混合物Ⅰ (2.35t/m3) ,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 各種,なし,再生密粒度ﾌﾟﾗｲﾑ(13)	1.000	m ²	1,343	1,343	S単 41号
	合 計				1,343	
	単 価				1,343	
	*** B単— 43号 ***					
000043	路盤工 再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40 t=23cm		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
SA0834	SP 上層路盤 (車道・路肩部) 路盤材,路盤材 (各種) 砕石材,-,-,2層施工,なし,0mm,230mm	1.000	m ²	1,050	1,050	S単 40号
	合 計				1,050	
	単 価				1,050	
	*** B単— 44号 ***					
000044	コンクリート打設 18-8-40BB		m ³		1.000 m ³	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,-,一般養生,-,-,無し,-,-,18-8-40(高炉B) W/C65 %	1.000	m ³	33,700	33,700	S単 35号
	合 計				33,700	
	単 価				33,700	
	*** B単— 45号 ***					
000045	型枠工 一般型枠		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	1.000	m ²	7,895	7,895	S単 38号
	合 計				7,895	
	単 価				7,895	
	*** B単— 46号 ***					
000046	目地板 ｴﾗｽﾀｯｸﾌｧｲﾗｰ t=10mm		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
SA0331	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(ゴム発泡体) t=10mm	1.000	m ²	3,650	3,650	S単 39号
	合 計				3,650	
	単 価				3,650	
	*** B単— 47号 ***					
000047	基礎砕石 再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40 t=15cm		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
SA0301	SP 基礎砕石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,なし,再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40 40～0mm	1.000	m ²	1,367	1,367	S単 32号
	合 計				1,367	
	単 価				1,367	
	*** B単— 48号 ***					
000048	基面整正		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
SA0151	SP 基面整正 基面整正	1.000	m ²	414.2	414	S単 28号
	合 計				414	
	単 価				414	
	*** B単— 49号 ***					

[illegible]

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S01032	ダンプトラック運搬(特殊)					
	ダンプトラック運搬(特殊)					
	土砂,4.0,1.0km以下,山0.80(平0.60)m3,無し,良好		m3	823		歩A・単A
	*** S単- 2号 ***					
S01032	ダンプトラック運搬(特殊)					
	ダンプトラック運搬(特殊)					
	土砂,4.0,7.0km以下,山0.45(平0.35)m3,無し,良好		m3	2,191		歩A・単A
	*** S単- 3号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻)					
	砂・砂質土,埋戻,まき出し,締固めを計上しない		m3	1,408		歩A・単A
	*** S単- 4号 ***					
S02024	張ブロック工(空張)					
	張ブロック工(空張)					
	目地モルタルを使用しない場合,厚さ10cm,なし		m ²	8,658		歩A・単A
	*** S単- 5号 ***					
S02029	裏込工(ブロック張)					
	裏込工(ブロック張)					
	再生クラッシャー(RC-40),なし		m3	5,319		歩A・単A
	*** S単- 6号 ***					
S02111	トータルステーション					
	トータルステーション					
	2級		供用日	912		歩A・単A
	*** S単- 7号 ***					
S02115	特殊作業員					
	特殊作業員					
			人	24,582		歩A・単A
	*** S単- 8号 ***					
S02115	軽作業員					
	軽作業員					
			人	16,422		歩A・単A
	*** S単- 9号 ***					
S02116	六価クロム溶出試験					
	六価クロム溶出試験					
	環境庁告示46号,,		検体	7,300		歩A・単A
	*** S単- 10号 ***					
S02116	タンクリーチング試験					
	タンクリーチング試験					
			検体	9,500		歩A・単A
	*** S単- 11号 ***					
S02123	建設廃材					
	建設廃材					
	鉄筋コンクリート廃材		m3	6,250		歩A・単A
	*** S単- 12号 ***					
S02123	建設廃材					
	建設廃材					
	無筋コンクリート廃材		m3	4,700		歩A・単A
	*** S単- 13号 ***					
S02721	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】					
	無筋,なし,機械,昼間施工,しない		m3	8,032		歩A・単A
	*** S単- 14号 ***					
S02721	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】					
	有筋,なし,機械,昼間施工,しない		m3	16,020		歩A・単A
	*** S単- 15号 ***					
S03701	【鉄筋工】					
	【鉄筋工】					
	SD295,D13,一般構造物,10t未満,-,無し,一般構造物(切梁無し),10%未満		ton	180,433		歩A・単A
	*** S単- 16号 ***					
S04031	スラリー攪拌工					
	スラリー攪拌工					
	二軸施工,12m以上 15m未満,1000,10mを超え20m以下,11.5m,0.15		本	109,410		歩A・単A
	*** S単- 17号 ***					
S19001	分解・組立・運搬費(重建設機械)					
	分解・組立・運搬費(重建設機械)					
	地盤改良機械(その他),機械質量60 tを超え120 t 以下,運搬～組立～分解～運搬,基地と現場の移動,,なし		台	5,246,191		歩A・単A
	*** S単- 18号 ***					
S86102	【被災地】締固工(振動φ締固め2.5m未満)					
	【被災地】締固工(振動φ締固め2.5m未満)					
	築堤・埋戻,0.8～1.1ton,なし		m3	659		歩A・単A
	*** S単- 19号 ***					
S86801	SP【被災地】掘削					
	SP【被災地】掘削					
	土砂,φφ外,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-		m3	350.4		歩A・単A
	*** S単- 20号 ***					
S86802	SP【被災地】積込(ルーズ)					
	SP【被災地】積込(ルーズ)					
	土砂,平均施工幅1m以上2m未満		m3	308.7		歩A・単A
	*** S単- 21号 ***					
S86802	SP【被災地】積込(ルーズ)					
	SP【被災地】積込(ルーズ)					
	土砂,土量50,000m3未満		m3	253.8		歩A・単A

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S86804	*** S単ー 22号 *** SP【被災地】路床盛土					
	SP【被災地】路床盛土 2.5m以上4.0m未満,-,-,なし		m3	1,017		歩A・単A
	*** S単ー 23号 *** SP【被災地】路床盛土					
S86804	SP【被災地】路床盛土 4.0m以上,20,000m3未満,無し,なし		m3	428		歩A・単A
	*** S単ー 24号 *** SP【被災地】整地					
	SP【被災地】整地 残土受入れ地での処理,-,-,なし		m3	144.5		歩A・単A
SA0103	*** S単ー 25号 *** SP 床掘り					
	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し,なし		m3	277		歩A・単A
	*** S単ー 26号 *** SP 土砂等運搬					
SA0121	SP 土砂等運搬 標準,ハッパ初山積0.45m3(平積0.35m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.5km以下		m3	633.1		歩A・単A
	*** S単ー 27号 *** SP 土砂等運搬					
	SP 土砂等運搬 標準,ハッパ初山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.3km以下		m3	374.1		歩A・単A
SA0151	*** S単ー 28号 *** SP 基面整正					
	SP 基面整正 基面整正		m ²	414.2		歩A・単A
	*** S単ー 29号 *** SP 殻運搬					
SA0221	SP 殻運搬 舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,11.5km以下,		m3	3,569		歩A・単A
	*** S単ー 30号 *** SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 コンクリ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,8.0km以下,		m3	1,503		歩A・単A
SA0222	*** S単ー 31号 *** SP 舗装版破碎					
	SP 舗装版破碎 コンクリ舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし		m ²	215.4		歩A・単A
	*** S単ー 32号 *** SP 基礎碎石					
SA0301	SP 基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシャラン RC-40 40~0mm		m ³	1,367		歩A・単A
	*** S単ー 33号 *** SP コンクリート					
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリートポン車打設,計上する,10m3以上100m3未満,一般養生,延長無し,-,-,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%		m3	26,130		歩A・単A
SA0311	*** S単ー 34号 *** SP コンクリート					
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリートポン車打設,計上する,10m3以上100m3未満,一般養生,延長無し,-,-,18-8-40(高炉B) W/C65%		m3	26,130		歩A・単A
	*** S単ー 35号 *** SP コンクリート					
SA0311	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,-,18-8-40(高炉B) W/C65%		m3	33,700		歩A・単A
	*** S単ー 36号 *** SP コンクリート					
	SP コンクリート 小型構造物,ポン車打設,計上する,-,一般養生,-,-,高さ約17m以下,水平距離約17m以下,なし,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%		m3	37,900		歩A・単A
SA0312	*** S単ー 37号 *** SP 型枠					
	SP 型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物		m ²	8,734		歩A・単A
	*** S単ー 38号 *** SP 型枠					
SA0312	SP 型枠 一般型枠,小型構造物		m ²	7,895		歩A・単A
	*** S単ー 39号 *** SP 目地板					
	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(ゴム発泡体) t=10mm		m ²	3,650		歩A・単A
SA0834	*** S単ー 40号 *** SP 上層路盤 (車道・路肩部)					

九州農政局

事業名	八代海岸保全事業					
工事名	昭和工区堤防補強工事					

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S01032	ダンプトラック運搬(特殊)		m3		10,000	歩A 当たり算出
	ダンプトラック運搬(特殊) 土砂,4.0,1.0km以下,山0.80(平0.60)m3,無し,良好			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分	土砂		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)運搬機械区分(t積級)	4.0		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)運搬距離	1.0km以下		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)積込機械区分	山0.80(平0.60)m3				
	5)DID区間	無し				
	6)路面条件	良好				
M03002	ダンプトラック[オンロード・ディゼル] 4t積級	0.260	供用日	8,310	2,161	
W14062	タイヤ消費費 (DT国産・普通・D) 積載重量 4.0 t 積	0.260	供用日	261	68	
P34029	軽油 バトロ-ル給油	7.300	L	142	1,037	
R01022	運転手 (一般)	0.220	人	22,542	4,959	
	合 計				8,225	算出数量 10,000 m3
	単 価		m3		823	
	*** S単一 2号 ***					
S01032	ダンプトラック運搬(特殊)		m3		10,000	歩A 当たり算出
	ダンプトラック運搬(特殊) 土砂,4.0,1.0km以下,山0.45(平0.35)m3,無し,良好			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分	土砂		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)運搬機械区分(t積級)	4.0		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)運搬距離	7.0km以下		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)積込機械区分	山0.45(平0.35)m3				
	5)DID区間	無し				
	6)路面条件	良好				
M03002	ダンプトラック[オンロード・ディゼル] 4t積級	0.690	供用日	8,310	5,734	
W14062	タイヤ消費費 (DT国産・普通・D) 積載重量 4.0 t 積	0.690	供用日	261	180	
P34029	軽油 バトロ-ル給油	19.000	L	142	2,698	
R01022	運転手 (一般)	0.590	人	22,542	13,300	
	合 計				21,912	算出数量 10,000 m3
	単 価		m3		2,191	
	*** S単一 3号 ***					
S01041	人力士工(盛土・埋戻)		m3		10,000	歩A 当たり算出
	人力士工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,締固めを計上しない			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分	砂・砂質土		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)作業区分	埋戻		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)施工区分	まき出し		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)締固め区分	締固めを計上しない				
R01003	普通作業員	0.680	人	20,706	14,080	
	合 計				14,080	算出数量 10,000 m3
	単 価		m3		1,408	
	*** S単一 4号 ***					
S02024	張ブロック工(空張)		m ²		10,000	歩A 当たり算出
	張ブロック工(空張) 目地砂を使用しない場合,厚さ10cm,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	目地砂を使用しない場合		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)材料区分	厚さ10cm		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)長期割引単価区分(賃料機械)	なし		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P15003	張ブロック 厚10cm(500×500以下)	10.000	m ²	5,100	51,000	
R01001	土木一般世話役	0.150	人	28,968	4,345	
R01007	ブロック工	0.300	人	27,030	8,109	

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
R01003	普通作業員	0.430	人	20,706	8,904	
F08061	バックホ[クロー型・クレーン・超低・排対型(～2011)] 標準バケット容量 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力2.9t	0.410	日	11,000	4,510	
R01021	運転手 (特殊)	0.300	人	24,786	7,436	
P34029	軽油 バトール給油	16.000	L	142	2,272	
	合 計				86,576	算出数量 10.000 m ³
	単 価		m ²		8,658	
	*** S単一 5号 ***					
S02029	裏込工(アロック張)		m ³		10.000 m ³	歩A 当たり算出
	裏込工(アロック張) 再生クラッシャー(RC-40),なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)裏込材区分 2)単価0円(裏込材)	再生クラッシャー(RC-40) なし		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	0.400	人	28,968	11,587	
R01003	普通作業員	0.800	人	20,706	16,565	
Y00004	諸雑費	0.160		28,152	4,504	
J03118	再生クラッシャー RC-40 40～0mm	11.100	m ³	1,850	20,535	
	合 計				53,191	算出数量 10.000 m ³
	単 価		m ³		5,319	
	*** S単一 6号 ***					
S02111	トータルステーション		供用日		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	トータルステーション 2級			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード 2)機械器具規格 3)単価の入力	M96001 2級 912円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
M96001	トータルステーション 2級	1.000	供用日	912	912	
	合 計				912	算出数量 1.000 各単位
	単 価				912	
	*** S単一 7号 ***					
S02115	特殊作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	特殊作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01002 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01002	特殊作業員	1.000	人	24,582	24,582	
	合 計				24,582	算出数量 1.000 人
	単 価				24,582	
	*** S単一 8号 ***					
S02115	軽作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	軽作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01004	軽作業員	1.000	人	16,422	16,422	

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				16,422	算出数量 1.000 人
	単 価				16,422	
	*** S単－ 9号 ***					
S02116	六価クロム溶出試験		検体		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	六価クロム溶出試験 環境庁告示46号,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード (P)	P96001		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J)			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96001	六価クロム溶出試験 環境庁告示46号	1.000	検体	7,300	7,300	
	合 計				7,300	算出数量 1.000 各単位
	単 価				7,300	
	*** S単－ 10号 ***					
S02116	タンクリーチング試験		検体		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	タンクリーチング試験			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード (P)	P96002		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J)			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96002	タンクリーチング試験	1.000	検体	9,500	9,500	
	合 計				9,500	算出数量 1.000 各単位
	単 価				9,500	
	*** S単－ 11号 ***					
S02123	建設廃材		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	建設廃材			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	鉄筋コンクリート廃材			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	1)地域資材単価コード	P52002		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	2)資材規格	鉄筋コンクリート廃材		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	3)単価の入力	6,250円				
P52002	建設廃材 鉄筋コンクリート廃材	1.000	m3	6,250	6,250	
	合 計				6,250	算出数量 1.000 各単位
	単 価				6,250	
	*** S単－ 12号 ***					
S02123	建設廃材		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	建設廃材			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	無筋コンクリート廃材			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	1)地域資材単価コード	P52001		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	2)資材規格	無筋コンクリート廃材		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	3)単価の入力	4,700円				
P52001	建設廃材 無筋コンクリート廃材	1.000	m3	4,700	4,700	
	合 計				4,700	算出数量 1.000 各単位
	単 価				4,700	
	*** S単－ 13号 ***					
S02721	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	無筋,なし,機械,昼間施工,しない			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	1)作業区分	無筋		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	2)時間的制約	なし				

事業名	八代海岸保全事業				
工事名	昭和工区堤防補強工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)施工区分Ⅰ	機械		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施工区分Ⅱ	昼間施工				
	5)低騒音・低振動対策	しない				
A73501	構造物とりこわし工無筋構造物					
	制約無 機械 機労 昼間	1.000	m3	8,032	8,032	
	合 計				8,032	算出数量 1.000 m3
	単 価		m3		8,032	
	*** S単一 14号 ***					
S02721	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】 有筋,なし,機械,昼間施工,しない			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	有筋		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)時間的制約	なし		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)施工区分Ⅰ	機械		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施工区分Ⅱ	昼間施工				
	5)低騒音・低振動対策	しない				
A73511	構造物とりこわし工鉄筋構造物					
	制約無 機械 機労 昼間	1.000	m3	16,020	16,020	
	合 計				16,020	算出数量 1.000 m3
	単 価		m3		16,020	
	*** S単一 15号 ***					
S03701	【鉄筋工】		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	【鉄筋工】 SD295,D13,一般構造物,10t未満,一,無し,一般構造物(切梁無し), 10%未満			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)規格区分	SD295		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)径区分	D13		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)作業区分	一般構造物		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施工規模	10t未満				
	5)時間的制約	一				
	6)夜間作業	無し				
	7)構造物区分	一般構造物(切梁無し)				
	8)太径鉄筋量	10%未満				
PI8246	異形棒鋼					
	SD295 D13	1.030	ton	104,000	107,120	
A01001	鉄筋(一般構造物)	1.150	ton	63,750	73,313	
	合 計				180,433	算出数量 1.000 ton
	単 価		ton		180,433	
	*** S単一 16号 ***					
S04031	スラリー攪拌工		本		1.000 目	歩A 当たり算出
	スラリー攪拌工 二軸施工,12m以上 15m未満,1000,10mを超え20m以下,11.5m ,0.15			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	二軸施工		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打設長(L)(施工本数選定用)	12m以上 15m未満		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)杭径(φ)	1000		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)打設長(L)(機械選定用)	10mを超え20m以下				
	5)杭長(m)	11.5m				
	6)杭長1m当たり改良材使用量(t/m)	0.15				
	7)改良材の単価(円/ t)	14,700.000				
P32014	改良材 各規格	13.300	ton	14,700	195,510	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	28,968	28,968	
R01002	特殊作業員	2.000	人	24,582	49,164	
R01003	普通作業員	1.000	人	20,706	20,706	
M11322	深層混合処理機(スクラ-式)[二軸式] 55~60kW×2	1.610	供用日	158,000	254,380	
P34029	軽油 ハト-リ給油	48.000	L	142	6,816	

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R01021	運転手 (特殊)	1.000	人	24,786	24,786	
M11362	深層混合処理機(スラ-式) [0561付属機器] 20m3/hr	1.610	供用日	49,000	78,890	
Y00004	諸雑費	0.230		463,710	106,653	
	合 計				765,873	算出数量 7.000 本
	単 価		本		109,410	
	*** S単一 17号 ***					
S19001	分解・組立・運搬費(重建設機械)		台		1.000 台	歩A 当たり算出
	分解・組立・運搬費(重建設機械) 地盤改良機械(その他),機械質量60 tを超え120 t 以下,運搬～組立 ～分解～運搬,基地と現場の移動,,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)機械区分 2)規格区分 3)移動区分 4)計上範囲 6)長期割引単価区分(賃料機械)	地盤改良機械(その他) 機械質量60 tを超え120 t 以下 基地と現場の移動 運搬～組立～分解～運搬 なし		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01002	特殊作業員	41.200	人	24,582	1,012,778	
F01091	ラフレ-クレーン[油圧伸縮ジ-ブ型・～低騒・排対型(～2次)] 吊上能力60t吊	6.300	日	107,000	674,100	
Y00004	運搬費等	2.110		1,686,878	3,559,313	
	合 計				5,246,191	算出数量 1.000 台
	単 価		台		5,246,191	
	*** S単一 18号 ***					
S86102	【被災地】締固工(振動ロ-ラ締固め2.5m未満) 【被災地】締固工(振動ロ-ラ締固め2.5m未満) 築堤・埋戻,0.8～1.1ton,なし		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	1)工種区分 2)規格区分(ton) 3)長期割引単価区分	築堤・埋戻 0.8～1.1ton なし		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
F04081	振動ロ-ラ[ハ-トガ-ト式] 質量0.8～1.1 t	1.440	日	2,960	4,262	
P34029	軽油 ハ-ト-ル給油	5.700	L	142	809	
R01002	特殊作業員	1.000	人	24,582	24,582	
	合 計				29,653	算出数量 45.000 m3
	単 価		m3		659	
	*** S単一 19号 ***					
S86801	SP【被災地】掘削 SP【被災地】掘削 土砂,オ-ブンカット,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法 3)押土の有無 4)障害の有無 5)施工数量 6)火薬使用 7)破砕片除去の有無 8)集積押土の有無	土砂 オ-ブンカット 無し 無し 5,000m3未満 - - -				
	単 価		m3		350.4	
	*** S単一 20号 ***					
S86802	SP【被災地】積込(ル-ズ)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	SP【被災地】積込(ルーズ) 土砂,平均施工幅1m以上2m未満			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)土質 2)作業内容	土砂 平均施工幅1m以上2m未満				
	単 価		m3		308.7	
	*** S単一 21号 ***					
S86802	SP【被災地】積込(ルーズ) SP【被災地】積込(ルーズ) 土砂,土量50,000m3未満		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)土質 2)作業内容	土砂 土量50,000m3未満				
	単 価		m3		253.8	
	*** S単一 22号 ***					
S86804	SP【被災地】路床盛土 SP【被災地】路床盛土 2.5m以上4.0m未満,-,-,なし		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)施工幅員 2)施工数量 3)障害の有無 4)長期割引単価区分	2.5m以上4.0m未満 - - なし				
	単 価		m3		1,017	
	*** S単一 23号 ***					
S86804	SP【被災地】路床盛土 SP【被災地】路床盛土 4.0m以上,20,000m3未満,無し,なし		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)施工幅員 2)施工数量 3)障害の有無 4)長期割引単価区分	4.0m以上 20,000m3未満 無し なし				
	単 価		m3		428	
	*** S単一 24号 ***					
S86805	SP【被災地】整地 SP【被災地】整地 残土受入れ地での処理,-,-,なし		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)作業区分 2)施工数量 3)障害の有無 4)長期割引単価区分	残土受入れ地での処理 - - なし				
	単 価		m3		144.5	
	*** S単一 25号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無 5)長期割引単価区分	土砂 標準 無し 無し なし				
	単 価		m3		277	
	*** S単一 26号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬 SP 土砂等運搬 標準,ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.45m3(平積0.35m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む), 無し,0.5km以下		m3	時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	歩A 当たり算出
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)DID区間の有無 5)運搬距離	標準 ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.45m3(平積0.35m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 0.5km以下				
	単 価		m3		633.1	
	*** S単一 27号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬 SP 土砂等運搬 標準,ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無 し,0.3km以下		m3	時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	歩A 当たり算出
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)DID区間の有無 5)運搬距離	標準 ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 0.3km以下				
	単 価		m3		374.1	
	*** S単一 28号 ***					
SA0151	SP 基面整正 SP 基面整正 基面整正		m ²	時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	歩A 当たり算出
	1)整形区分	基面整正				
	単 価		m ²		414.2	
	*** S単一 29号 ***					
SA0221	SP 殻運搬 SP 殻運搬 舗装版破砕,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,11.5km以下,		m3	時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	歩A 当たり算出
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離	舗装版破砕 機械積込(舗装版厚15cm以下) 無し 11.5km以下				

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価		m3		3,569	
	*** S単ー 30号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,8.0km以下,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 8.0km以下				
	単 価		m3		1,503	
	*** S単ー 31号 ***					
SA0222	SP 舗装版破砕		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 舗装版破砕 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有リ,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)舗装版種別 2)障害等の有無 3)騒音振動対策 4)舗装版厚 5)Co+As(ｶﾙｼ-)-舗装によるAs舗装 6)積込作業の有無 7)長期割引単価区分	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装版 無し 不要 15cm以下 - 有リ なし				
	単 価		m ²		215.4	
	*** S単ー 32号 ***					
SA0301	SP 基礎碎石		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	SP 基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシャラン RC-40 40～0mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)碎石の厚さ 2)碎石の計上 3)長期割引単価区分 4)規格区分	12.5cmを超え17.5cm以下 計上する なし 再生クラッシャラン RC-40 40～0mm				
	単 価		m ³		1,367	
	*** S単ー 33号 ***					
SA0311	SP ｺﾝｸﾘｰﾄ		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP ｺﾝｸﾘｰﾄ 無筋・鉄筋構造物,ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾗﾝｸ車打設,計上する,10m3以上100m3未満 ,一般養生,延長無し,-,-,-,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)構造物種別 2)打設工法 3)ｺﾝｸﾘｰﾄの計上 4)設計日打設量 5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分 7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ、水平打設距離 10)規格区分	無筋・鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾗﾝｸ車打設 計上する 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し - - 18-8-25(20)(高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		26,130	

事業名	八代海岸保全事業
工事名	昭和工区堤防補強工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 34号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリートポンプ車打設,計上する,10m3以上100m3未満, 一般養生,延長無し,-,-,18-8-40(高炉B) W/C65%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)構造物種別 2)打設工法 3)コンクリートの計上 4)設計日打設量 5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分 7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ、水平打設距離 10)規格区分	無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 計上する 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し - - 18-8-40(高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		26,130	
	*** S単一 35号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高 炉B) W/C65%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)構造物種別 2)打設工法 3)コンクリートの計上 4)設計日打設量 5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分 7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ、水平打設距離 10)規格区分	小型構造物 人力打設 計上する - 一般養生 - 無し - 18-8-40(高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		33,700	
	*** S単一 36号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,クレーン車打設,計上する,-,一般養生,-,-,高さ約17m以下、 水平距離約17m以下,なし,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)構造物種別 2)打設工法 3)コンクリートの計上 4)設計日打設量 5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分 7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ、水平打設距離 9)長期割引単価区分 10)規格区分	小型構造物 クレーン車打設 計上する - 一般養生 - - 高さ約17m以下、水平距離約17m以下 なし 18-8-25(20)(高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		37,900	
	*** S単一 37号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)型枠の種類 2)構造物の種類	一般型枠 鉄筋・無筋構造物				
	単 価		m ²		8,734	

事業名	八代海岸保全事業				
工事名	昭和工区堤防補強工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 38号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)型枠の種類 2)構造物の種類	一般型枠 小型構造物				
	単 価		m ²		7,895	
	*** S単ー 39号 ***					
SA0331	SP 目地板		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(ゴム発泡体) t=10mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)1工事当り使用量 2)目地板の計上 3)規格区分	30m2未満 計上する 目地板(ゴム発泡体) t=10mm				
	単 価		m ²		3,650	
	*** S単ー 40号 ***					
SA0834	SP 上層路盤 (車道・路肩部)		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤 (車道・路肩部) 路盤材,路盤材 (各種) 砕石材,-,-,,2層施工,なし,0mm,230mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)材料区分Ⅰ 2)平均幅員 3)瀝青材の有無 4)路盤材の有無 5)施工区分 6)瀝青材区分Ⅰ 7)長期割引単価区分 8)瀝青材1層当り平均仕上り厚 9)路盤材全仕上り厚 11)材料区分Ⅱ	路盤材 - なし あり 2層施工 - なし 0mm 230mm 路盤材 (各種) 砕石材				
J03118	再生クラッシャー RC-40 40～0mm		m ³			材変
	単 価		m ³		1,050	
	*** S単ー 41号 ***					
SA0843	SP 表層 (車道・路肩部)		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層 (車道・路肩部) 3.0m超,30mm,アスファルト混合物Ⅰ (2.35t/m ³),グラムコト 各種,なし,再生密粒度アスコン(13)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚 3)比重区分 4)瀝青材料種類 5)長期割引単価区分 6)材料区分	3.0m超 30mm アスファルト混合物Ⅰ (2.35t/m ³) グラムコト 各種 なし 再生密粒度アスコン(13)				
	単 価		m ²		1,343	

九州農政局

九州農政局

令和 5 年度 八代海岸保全事業

昭和工区堤防補強工事

特 別 仕 様 書

九州農政局八代海岸保全事業所

第 1 章 総 則

令和5年度八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事の施工にあたっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）に基づいて実施する。
なお、共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第 2 章 工事内容

1. 目 的

本工事は、八代海岸保全事業の一環として陸側の堤防補強工事を行うものである。

2. 工事場所

熊本県八代市昭和同仁町地内

3. 工事概要

本工事の概要は次のとおりである。

施工区間 測点No.1+45.00 ～測点No.4+5.00 L=110.00m

内 訳)

地盤改良工（深層混合処理工） 削孔長 H=12.9m ϕ 1,000 318 本

裏法面被覆工（張ブロック工） A=610m²

被覆工（アスファルト舗装工） A=893m²

4. 工事数量

別紙、「工事数量表」のとおりである。

なお、工事数量表の備考欄に「概」と表示した数量については、設計変更 で処理する。

第 3 章 施工条件

1. 工事期間中の休業日

工事期間中の休業日としては、雨天・休日等62日を見込んでいる。

なお、休業日には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇を含んでいる。

2. 施工しない日

原則、土曜日及び日曜日、年末年始休暇（12月29日～1月3日）。

ただし、週休2日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休2日の実施を取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。

なお、冬期間の気象条件等により上記の工事を施工しない日においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

3. 施工しない時間帯

平日の午後5時から午前8時まで。

なお、冬期間の気象条件等により上記の工事を施工しない時間帯においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

4. 搬出・搬入路の使用

図面「位置図」に示す「搬出・搬入路」の使用については、資機材等の搬入及び建設廃材の搬出を行う際の使用を想定している。

5. 現場技術員

本工事は、共通仕様書「第1編 第1章 1-1-9」に規定している現場技術員を配置する。
氏名等については、別に通知する。

6. 工期

- (1) 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者の確保などが図れる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。

なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、様式1により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている185日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに様式1と併せて、休日を確認していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。

また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結の日から令和7年3月5日（工事完了期限日）まで

7. CORINSの登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕工期を含まないことに留意すること。

第 4 章 現場条件

1. 土 質

本工事の施工場所の土質は、砂質土と想定している。

2. 関連工事等

本工事に関連して次に示す工事を予定しているので、監督職員及び関連する工事の責任者と十分連絡、協議し、工事工程及び安全対策の措置に支障が生じないように調整しなければならない。

工事名	施工（予定）期間	備考
① 郡築工区資機材搬入路整備その3工事	令和6.7.9～令和7.3.5	
② 郡築工区堤防補強工事（仮称）	令和6.8～令和7.3	
③ 郡築工区堤防補強その2工事（仮称）	令和6.8～令和7.3	

3. 第三者に対する措置

(1) 騒音・振動対策

騒音・振動等の対策について十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

(2) 営農対策

周辺の農地は、工事期間中も耕作が行われているため、工事実施及び資機材の搬入搬出にあたっては、営農に支障がないように努めなければならない。

(3) 搬出・搬入路

本工事においては、図面に示す路線を搬出・搬入路として利用することとしており、一般の通行に支障をきたさないよう受注者の責任において維持管理を行わなければならない。

なお、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

- (4) 保安対策
本工事における交通誘導警備員は計上していないが、現地交通状況等により必要な場合は、監督職員と協議するものとする。
- (5) 交通安全対策
 - 1) 工事期間中における昼夜の安全対策については、交通制限の範囲、標識及び安全施設等の配置について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
 - 2) 工事場所にあつては、営農等により付近を通行する人、自転車及び営農車両に細心の注意を図り、事故等が発生しないよう交通安全対策を徹底するものとする。
- (6) 濁水処理対策
潮遊池の濁り等の防止に十分留意しなければならない。
なお、施工中に潮遊池及び海に異常な濁り等が発見された場合は、直ちに監督職員に報告しなければならない。

4. 隣接地に対する措置

本工事範囲及び周辺部の既設構造物については、工事着手前に位置・高さ等を測定し、記録しておくものとする。
また、構造物に影響が生じると想定される場合又は異常を発見した場合は、直ちに作業を中止し、応急措置を行うとともに監督職員に報告し、事後処理について協議しなければならない。

5. 関係機関との調整

- (1) 発注者より昭和漁協、八代平野北部土地改良区、熊本県及び八代市に工事計画等を説明している。受注者は本工事の施工に際しては、関係機関とトラブルが生じないよう十分な連絡調整を行わなければならない。
なお、トラブルが生じた場合は、受注者の責任において措置しなければならない。
- (2) 復旧方法について、関係機関との協議により追加する場合がある。

第 5 章 指 定 仮 設

1. 建設発生土受入地

(1) 建設発生土仮置場

本工事の建設発生土受入地は図面「位置図」に示す箇所とし、その名称、搬出予定量は次のとおりである。

名称	地先名	搬出予定量	摘要
建設発生土仮置場	熊本県八代市昭和同仁町地内	243 m ³	掘削残土

第 6 章 工事用地等

1. 発注者が確保している用地

発注者が確保している工事用地及び工事施工に必要な用地は、既存の海岸保全区域内の用地である。

第 7 章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第 8 章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は次のとおりである。

- (1) 砕石類
JIS A 5021 再生クラッシャーラン RC-40
- (2) 鋼材類
JIS G 3112 鉄筋コンクリート用異形棒鋼 SD295 D13
- (3) 地盤改良材
JIS A R5211 高炉セメント (B 種) バラ
- (4) コンクリート二次製品
張ブロック t=10cm
- (5) 再生加熱アスファルト混合物
JIS K 2207 再生密粒度アスコン (13)
JIS K 2208 アスファルト乳剤 PK-3
- (6) コンクリート
コンクリートはレディーミクストコンクリートとし、種類は次のとおりとする。

種 類	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	水セメント比 W/C (%)	セメントの種類 による記号	使用目的
無筋コンクリート (一般構造物)	18	8	40	65 以下	B B	基礎コンクリート 天端コンクリート 法尻被覆コンクリート
	18	8	25	65 以下	B B	帯コンクリート

※粗骨材最大寸法25mm は、地域的に骨材の入手が困難な場合20mm の使用を可能とする。

- (7) 目地材
エラスチックフィラー t=10mm
- (8) 木材
受注者は、設計図書に木材の使用について指定されている場合はこれに従うものとし、
任意仮設等においても木利用の促進に留意しなければならない。

2. 見本又は資料提出

主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材 料 名	提 出 物
砕石類	試験成績書
鋼材類	試験成績書、カタログ、ミルシート
コンクリート二次製品	試験成績書
再生加熱アスファルト混合物	試験成績書
コンクリート	試験成績書、配合設計書
地盤改良材	試験成績書、カタログ
その他	試験成績書、カタログ

3. 監督職員の検査又は試験

次に示す工事用材料は、使用前に監督職員の検査又は試験を受けなければならない。

材 料 名	検査、試験項目	備 考
生コンクリート	スランプ値・空気量	資材搬入時
鋼材類	外観・寸法	資材搬入時
地盤改良材	カタログとの照合	資材搬入時

第9章 施 工

1. 一般事項

(1) 基準点

本工事の基準点は、図面「位置図」に示す、2 昭 No.1 及び 2 昭 No.2 を使用しなければならない。基準点及び境界杭等は、施工中に損傷しないよう留意するとともに、移動の必要が生じた場合は監督職員に報告し指示を受けなければならない。

なお、補助 BM を設けた場合は、位置及び標高を監督職員に報告するものとする。

また、基準点等の位置データは、測地成果 2000 に対応したものである。

(2) 検測又は確認（施工段階確認）

1) 本工事の施工段階確認は、下表に示すとおりである。

ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。

2) 下表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。

工 種	確認内容	確認時期	備 考
掘削	床付け状況 基 準 高 さ	初期床付け完了時	
	地 質 状 況	初期床付け完了時、 地質変化時	
地盤改良工	改良深さ、幅、延長	施工初期段階 1 箇所	

(3) 中間技術検査

1) 発注者から中間技術検査を実施する旨、通知を受けた場合は従わなければならない。

2) 中間技術検査を受ける場合、あらかじめ監督職員から指示する出来形図及び出来形数量内訳書を作成し、監督職員へ提出しなければならない。

3) 契約図書により義務づけられた工事記録写真、出来形管理資料、出来形図及び工事報告書等の資料を整備し、中間技術検査を命ぜられた職員（以下「技術検査職員」という。）から提示を求められた場合は従わなければならない。

4) 技術検査職員から修補を求められた場合は従わなければならない。

5) 中間技術検査及び修補に要する費用は、受注者の負担とする。

2. 再生資源等の利用

(1) 再生資材の利用

受注者は、次に示す再生資材を利用しなければならない。

資材名	規格	備考
再生加熱アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (13)	
再生クラッシャーラン	RC-40	

なお、舗装材に使用する場合等には「舗装再生便覧」（（公社）日本道路協会発行）を遵守する。

(2) 建設資材廃棄物等の現場内利用

受注者は、本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物等の利用方法について監督職員と協議しなければならない。

なお、建設資材廃棄物については、分別の徹底及び適切な保管を行うものとする。

(3) 建設発生土の利用

地盤改良工時に発生する盛上り土は、埋戻土及び盛土として優先的に利用するものとする。なお、利用範囲については監督職員と協議するものとする。

3. 建設資材廃棄物等の搬出

(1) 建設資材廃棄物等の搬出

本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物等を本現場内で利用することが困難な場

場合は、次に示す処理施設へ搬出するものとするが、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

建設資材廃棄物	処理施設名	住所	受入時間	事業区分
コンクリート殻 (有筋・無筋)	シー・アール・ディ・開発 (株)	熊本県八代市港町 262-26	8 時 00 分～ 17 時 00 分	再資源化 施設業者

4. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	① 仮設	仮設工事 ■ 有 □ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業併用
	② 土工	土工事 ■ 有 □ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業併用
	③ 基礎	基礎工事 ■ 有 □ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業併用
	④ 本体構造	本体構造の工事 ■ 有 □ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業併用
	⑤ 本体付属品	本体付属品の工事 ■ 有 □ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業併用
	⑥ その他 (アスファルト・コンクリート塊)	その他の工事 ■ 有 □ 無	☐ 手作業 ■ 手作業・機械作業併用

■が該当する部分である。

5. 土工

(1) 掘削

- 掘削土は、埋戻しに流用するものとする。
- 掘削土の仮置きは、図面「位置図」に示す建設発生土仮置場を予定している。
- 掘削に当たっては、法面の崩壊に十分注意して施工しなければならない。
- 法面の崩落により他の施設に重大な影響が発生又は、その恐れが認められる場合は、速やかに監督職員と協議しなければならない。
- 過掘が生じた場合は、良質土等で埋戻さなければならない。

(2) 埋戻・盛土

- 流用土に締固め基準を確保できない不良土が出現した場合は、その処理方法について監督職員と協議しなければならない。
- 埋戻材は掘削流用土を使用するものとするが、不足分については山土（購入土）によるものとする。
- 盛土材は流用可能な土砂は流用して使用し、一層の仕上がり厚さが 30 cm 程度となるようまきだし、締固め度 90% 以上なるように締固めなければならない。

6. 地盤改良工

- 施工に先立ち、地盤改良計画書を提出し、監督職員の承諾を得るものとする。

なお、地盤改良計画書作成に当たり、プラントヤード計画、既設構造物監視計画も掲載するものとする。

- 改良は、スラリー状となった固化材を攪拌先端部に圧送し、吐出しながら改良対象層に対して現地土とスラリー状固化材を所定の速度にて攪拌混合し、改良杭を造成するものとする。
- 着手前にボーリング削孔により現地土を採取するものとする。
なお、調査位置については、監督職員と協議するものとする。
- 改良範囲の土質については、次のとおり想定している。

土質：砂質土

N 値：N 値 < 20

- 地盤改良材の配合量については、着工前に現地土による室内配合試験を行い、監督職員の承諾を得るものとする。

なお、配合試験に当たっては、事前に提出される地盤改良計画書に配合試験計画を掲

載し、監督職員の承諾を得るものとする。

- (6) 目標改良強度及び地盤改良材想定添加量等は次のとおりとしているが、配合試験結果により、監督職員と協議のうえ設計変更する場合がある。

また、施工基面から改良天端までの間で三軸圧縮試験を行うこととし、試験試料の採取位置は監督職員と協議するものとする。

使用材料	目標改良強度 ($q_u(\sigma 28)$) (下段は室内配合試験時)	想定添加量	備考
セメント高炉 B 種	200kN/m ² (600kN/m ²)	100 (kg/m ³)	深層混合処理工

- (7) 格子状（二軸）による地盤改良を想定しているが、これにより難しい場合は、監督職員と協議しなければならない。

- (8) 水セメント比 100%を想定している。

- (9) セメントスラリーに使用する練混ぜ用水については、潮遊池の貯留水を使用してよい。

- (10) 地盤改良作業期間中、受注者は周辺既設構造物の監視を行い、変状が認められた場合は直ちに施工を中止し、監督職員に報告しなければならない。

- (11) 地盤改良後の盛上り土については、建設発生土仮置場へ搬出するものとし、盛上り土量については、監督職員の立会により確認し設計変更を行う場合がある。

- (12) 地盤改良施工後、28 日 ($\sigma 28$) 経過した時点で、改良土における土質調査（一軸圧縮試験）を行い、室内配合試験データとのチェックを行い、監督職員に報告するものとする。

7. 裏法面被覆工

- (1) 張ブロック工

- 1) 張ブロック

張ブロックの施工上、法長の調整及び屈曲部、隅部の取付等で規格ブロックの使用が不適当な場合は監督職員の承諾を得て、現場打ちコンクリート（18-8-25）で施工するものとする。

- 2) 裏込材

裏込材は再生砕石を使用するものとし、十分に締固めなければならない。

- 3) 工事施工に先立ちコンクリート張ブロック割付図を作成し、監督職員の承諾を得るものとする。

コンクリート張ブロック割付図作成にあたっては、帯コンクリート及び目地板を 10m に 1 カ所設置する計画としなければならない。

- (2) 施工始点及び施工終点における施工対象外との擦り付け方法については、監督職員と協議して施工するものとする。

8. 被覆工

- (1) 路盤工

- 1) 路盤材は再生砕石材を使用し、施工条件に合った機械により敷均し、締固め度 93%以上となるように締固めなければならない。

- (2) アスファルト舗装工

- 1) マーシャル試験の試験方法は、「舗装の構造に関する技術基準同解説」によるものとする。

- 2) 表層工の施工にあたっては、プライムコート（アスファルト乳剤 PK-3）120 g/100 m²以上を路盤面に均一に散布し表層との密着を図らなければならない。

- 3) 表層工は、施工条件に合った敷均し機械により再生加熱アスファルト混合物を敷均し、施工条件にあった機種により締固めなければならない。

- (3) 施工始点及び施工終点における施工対象外との擦り付け方法については、監督職員と協議して施工するものとする。

第 10 章 情報化施工技術の活用について

1. 適用

本工事は、「情報化施工技術の活用ガイドライン」（農林水産省農村振興局整備部設計課）に基づき、情報通信技術の活用により生産性及び施工品質の向上を図るため、受注者の発議により、地盤改良工に関する起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理等の施工管理及びデータ納品の全て又は一部において、情報化施工技術を活用する「情報化施工技術活用工事」の対象工事（受注者希望型）である。

2. 協議・報告

受注者は、情報化施工技術の活用を希望する場合は、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による変更施工計画書の提出を含む。）までに発注者へ協議を行い、協議が整った場合、実施内容等について施工計画書に記載するものとする。

なお、情報化施工技術の活用を希望しない場合は、その旨発注者に報告するものとする。

3. 使用する機器・ソフトウェア

情報化施工技術を活用するに当たり使用する機器及びソフトウェアは、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工データは、受注者が作成するものとする。使用する機器、ソフトウェア及びファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

4. 貸与資料

基本設計データ及び3次元設計データの作成に必要な貸与資料は下表のとおりである。

このほか、必要な資料がある場合は、監督職員に報告し貸与を受けるものとする。

なお、貸与を受けた資料については、工事完成時までに監督職員へ返却しなければならない。

	貸与資料	備考
1	令和4年度八代海岸保全事業 昭和工区堤防実施設計業務報告書	
2	図面のCADデータ	

5. 確認及び検査

受注者は、監督職員が行う施工段階確認等や検査職員が行う完成検査等において、施工管理データが組み込まれた出来形管理用T S等光波方式等を準備しなければならない。

6. 電子納品

受注者は、情報化施工技術に係る資料について、「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき提出しなければならない。

7. 情報化施工技術の活用に要する費用

(1) 情報化施工技術の活用に要する費用については設計変更の対象とし、「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき計上することとする。

(2) 受注者は、発注者から依頼する歩掛、経費等の見積書提出に協力しなければならない。
また、発注者の指示により歩掛調査等の調査を実施する場合には協力しなければならない。

第 11 章 施工管理

1. 主任技術者等の資格

主任技術者等の資格は、入札説明書による。

2. 施工管理

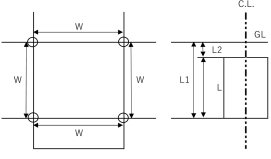
(1) 施工管理の追加項目

施工管理に定めのない追加の項目とその内容は、次によるものとする。

施工管理に定めのない追加の項目とその管理基準等は、次によらなければならない。

1) 出来形管理

①直接測定による出来形管理

工種・区分	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
地盤改良工 (固結工)	基準高 ∇	-50	100 本に 1 箇所		
	位置・間隔 W	D/4 以内	100 本以下は 2 箇所測定。1 箇所 4 本測定。		
	杭径 D	設計値以上			
	深度 L	設計値以上	全本数 $L = L1 - L2$ L1 は改良体先端深度 L2 は改良体天端深度		

②撮影記録による出来形管理

工種・区分	撮影基準	撮影箇所	備考
地盤改良工 (固結工)	1 施工箇所に 1 回 (打込後)	位置・間隔杭径	
	1 施工箇所に 1 回 (打込前後)	深度	

2) 品質管理

工種・区分	試験 (測定) 項目	試験方法	試験 (測定) 基準	(参考) 規格値
地盤改良工 (固結工)	土の一軸圧縮試験	JIS A 5371	改良体 500 本未満は 3 本、500 本以上は 250 本増える毎に 1 本追加する。 試験は 1 本の改良体について、上、中、下それぞれ 1 回、計 3 回とする。ただし、1 本の改良体で設計強度を変えている場合は、各設計強度毎に 3 回とする。 現場条件、規模等により上記により難しい場合は監督職員の指示による。	①各供試体の試験結果は改良地盤設計強度の 85% 以上。 ②1 回の試験結果は改良地盤設計強度以上。 なお、1 回の試験とは 3 個の供試体の試験値の平均値で表したもの。
コンクリート 二次製品 (張ブロック)	JIS A 5371	JIS A 5371	1,000 個	標準ロット数による工場検査が 1 回/月以上となる場合は 2 回/月とする。

3. 動態観測

(1) 一般事項

本工事に伴い、波返し工天端 (測点 No. 2、3、4) 及び潮遊池護岸天端 (始点及び終点付近) の動態観測を行い、水平及び垂直変位等の管理を行うものとするが、詳細については監督職員と協議するものとする。

(2) 観測頻度

観測頻度は、掘削開始から地盤改良完了までが 1 日 1 回、それ以降から工期末までが 1 週間に 1 回を想定している。

計測した値は監督職員に提出するものとし、計測頻度 (回数) は現場の実情に応じて変更することがある。

4. 六価クロム溶出試験及びタンクリーチング試験

本工事は、「六価クロム溶出試験及びタンクリーチング試験」の対象工事であり、次に示す工種について、六価クロム溶出試験及びタンクリーチング試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出しなければならない。

なお、試験方法は、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

六価クロム溶出試験対象工種及び検体数

対象工種	対象工法	配合設計段階検体数	備考
地盤改良工	深層混合処理工	1 検体	

タンクリーチング試験対象工種及び検体数

対象工種	対象工法	配合設計段階検体数	備考
地盤改良工	深層混合処理工	1 検体	

5. 工事写真における黒板情報の電子化

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、（１）の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。
なお、上記1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に（https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（５）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

第 1 2 章 天災その他不可抗力

天災その他の不可抗力による損害は、請負契約書第30条によるものとするが、その損害額の負担については、甲乙協議によって定めるものとする。

第 1 3 章 条件変更の補足説明

本工事の施工にあたり自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は次のとおりである。

1. 土質
2. 転石、湧水等の出現
3. 地下埋設物の出現
4. 第三者との協議結果に伴って変更が生じた場合
5. 現場状況等による施工範囲の変更
6. 遠隔確認の試行を行う場合
7. その他

第 1 4 章 そ の 他

1. 契約後V E方式

(1) 定義

「V E 提案」とは、工事請負契約書第 19 条の 2 の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

(2) V E 提案の意義及び範囲

- 1) V E 提案の範囲は、設計図書に定めている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。
- 2) ただし、次の提案は、V E 提案の範囲に含めないものとする。
 - ①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案
 - ②工事請負契約書第 18 条(条件変更等)に基づき条件変更が確認された後の提案
 - ③競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

(3) V E 提案書の提出

- 1) 受注者は、(2) の V E 提案を行う場合は、次に掲げる事項を V E 提案書（共通仕様書様式 6-1～4）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - ①設計図書に定める内容と V E 提案の内容の対比及び提案理由
 - ②V E 提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - ③V E 提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - ④発注者が別途発注する関連工事との関係
 - ⑤工業所有権を含む V E 提案である場合、その取扱に関する事項
 - ⑥その他 V E 提案が採用された場合に留意すべき事項
- 2) 発注者は、提出された V E 提出書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- 3) 受注者は、V E 提案を契約締結の日より、当該 V E 提案に係る部分の施工に着手する日の 35 日前までに、発注者に提出できるものとする。
- 4) V E 提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(4) V E 提案の適否等

- 1) 発注者は V E 提案の採否について、原則として、V E 提案を受領した日の翌日から14日以内に書面（共通仕様書 様式6-5）により通知するものとする。

ただし、その期間内に通知できないやむをえない理由があるときは、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。

- 2) また、V E 提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。
- 3) V E 提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性等を評価する。
- 4) 発注者は、V E 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第19条の2（設計図書の変更に係る受注者の提案）の規定に基づくものとする。
- 5) 発注者は、V E 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第25条（請負代金額の変更方法等）の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
- 6) 前項の変更を行う場合においては、V E 提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額（以下「V E 管理費」という。）を削減しないものとする。
- 7) V E 提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合において、発注者がV E 提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
- 8) 発注者は、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第25条（請負代金額の変更方法等）第1項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。V E 提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合の前記6) のV E 管理費については、変更しないものとする。

ただし、双方の責に帰すことができない事由（不可抗力、予測不可能な事由等）により、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、協議して定めるものとする。

(5) V E 提案書の使用

発注者は、V E 提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容が無償で使用する権利を有するものとする。

(6) 責任の所在

発注者がV E 提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、V E 提案を行った受注者の責任が否定されるものではないこととする。

2. 電子納品

工事完成図書を、共通仕様書第1編1-1-37に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・ 工事完成図書の電子媒体（CD-R、DVD-R又は、BD-R） 正副 2 部

3. 部分払について

本工事の部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、別添「出来高部分払方式実施要領」に基づき行うものとする。

4. ワンデーレスポンスに関する事項

「ワンデーレスポンス」とは、監督職員が受注者からの協議等に対する指示、通知を原則「その日のうち」に回答する対応である。ただし、「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答日を通知するなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

なお、「その日のうち」とは午前中に協議等が行われたものは、その日のうちに回答することを原則とし、午後には協議等が行われたものは、翌日中に回答するものとする。

ただし、原則として閉庁日を除く。

5. 配置予定主任技術者等の専任期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

なお、現場に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。

また、現場への専任の期間については、契約工期が基本となるが、契約工期内であっても、

工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「合格通知書」における日付）とする。

6. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項並びに「工事の施工効率向上対策」（農水省WEBサイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

（1）工事円滑化会議（施工条件確認会議）

工事契約後に、円滑な工事着手が図れるよう事業所長、総括監督員、主任監督員（主催）及び監督員が、現場代理人、受注会社幹部に、設計の考え方等を説明し、共有を図るものとする。

なお、開催日程、出席者、課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

（2）工事円滑化会議（工程確認会議）

工事着手時および新工種発生時等において、現場代理人・受注会社幹部並びに事業所長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が施工計画、工事工程等について確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するものとする。

なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人及び監督職員の協議により定めるものとする。

（3）設計変更確認会議

工事完成前に、設計変更手続きや工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部並びに事業所長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が工期、設計変更内容、技術提案の履行状況等について、高いレベルで確認する設計変更確認会議を開催するものとする。

なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員が協議し定めるものとする。

（4）対策検討会議

工事実施中において、自然的又は人為的な要因等により、工事の工期、設計及び施工等に大きな影響をもたらす重大な事象が発生した際に、調査設計段階の検討内容を含めた技術課題等の迅速な解決に向けて、現場代理人・受注会社幹部並びに九州農政局地方参事官（議長）・関係課職員、事業所長、総括監督員、主任監督員、監督員が対応方針の協議・確認を行う対策検討会議を開催することができるものとする。

なお、対策検討会議は、現場代理人又は監督職員が工事円滑化会議等において協議の上開催する。

（5）建設コンサルタントの出席

上記（1）、（2）、（3）及び（4）の会議に必要な応じて建設コンサルタントを出席させる場合は、必要経費を積算し、別途契約により対応するものとする。

なお、工事受注者の同会議出席に要する経費については、当該工事の現場管理費の中の通信交通費に含まれているものと考えており、開催回数に関わらず変更契約の対象としない。

（6）工事円滑化会議、設計変更確認会議及び対策検討会議において確認した事項については、打合せ記録簿（共通仕様書 様式-42）に記録し、相互に確認するものとする。

7. 週休2日による施工

（1）本工事は、週休2日に取り組むことを前提として、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正した試行対象工事である。受注者は、契約後、週休2日による施工を行わなければならない。なお、受注者の責によらない現場条件・気象条件等により週休2日相当の確保が難しいことが想定される場合には監督職員と協議するものとする。

（2）「週休2日」とは、対象期間を通じた現場閉所の日数が、4週8休以上となることをいい、対象期間内の現場閉所日数の割合が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。

なお、ここでの対象期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。

1）対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として12月29日から1月3日ま

での6日間、8月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、余裕期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

- 2) 現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検や巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。
- 3) 降雨、積雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
- (3) 週休2日（4週8休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - 1) 受注者は、契約後、週休2日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。
 - 2) 受注者は、週休2日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。なお、週休2日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。
 - 3) 監督職員は、上記受注者からの報告により週休2日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。
 - 4) 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記2)の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。
 - 5) 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。
- (4) 監督職員が週休2日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (5) 発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正する。

1) 補正係数

	4週8休以上 〔 現場閉所率 28.5%（8日／28日）以上 〕
労務費	1.02
機械経費（賃料）	1.02
共通仮設費（率分）	1.02
現場管理費（率分）	1.05

2) 補正方法

当初積算において4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。なお、発注者は、工事完成時に現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、工事請負契約書第25条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき上記1)に示す補正係数による補正を行わずに減額変更する。

また、提出された工程表が週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、契約違反として「地方農政局工事成績等評定実施要領（模範例）の制定について」（平成15年2月19日付け14地第759号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）別紙8（事業（務）所長用）に示す「7. 法令遵守等」において、点数10点を減ずるものとする。

- (6) 週休2日の確保に取り組む工事において、市場単価方式・土木工事標準単価による積算に当たっては、現場閉所状況に応じて、以下のとおり補正する。

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

	区分	補正係数
		4週8休以上
鉄筋工		1.02

土木工事標準単価による週休２日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

	区分	補正係数
		４週８休以上
構造物とりこわし工	機械	1.02

8. 週休２日制の促進

- (1) 本工事は、週休２日制を促進するため、現場閉所状況に応じて工事成績要領に基づく工事成績評価において加点評価を行うとともに、週休２日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」という。）の発行を行う工事である。
- (2) 発注者は、現場閉所状況が月単位で４週８休以上（現場閉所率 28.5%（８日/28日）以上）と確認した場合は、工事成績評価において加点評価するものとする。ただし、工事成績評価の合計は 100 点を超えないものとする。また、明らかに受注者側に週休２日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、工事成績評価の点数を 10 点減ずることとする。なお、加点評価に当たっては、以下のとおりとする。

- 1) 他の模範となるような受注企業の働き方改革に係る取組を本工事において実施した場合は、工事成績要領別紙５に示す「４．創意工夫」に、次の評価項目を追加した上で最大２点を加点評価する。なお、複数事項への取組や実施状況の内容に応じて１点、２点で評価する。

○監督職員用

【働き方改革】

- ☐ 月単位の週休２日（４週８休以上）の確保に向けた企業の取組が図られている。
- ☐ 若手や女性技術者の登用など、担い手の確保に向けた取組が図られている。

- 2) 現場閉所による月単位の週休２日相当（４週８休以上）が達成した場合は、工事成績要領別紙３－１に示す「２．施工状況（Ⅱ工程管理）」に、次の２つの評価項目を追加し、両方で加点評価する。ただし、月単位の週休２日に満たない場合は、「休日の確保を行った。」のみを評価する。

○監督職員用

- ☐ 休日の確保を行った。
- ☐ その他〔理由：現場閉所により月単位の週休２日（４週８休以上）の確保を行った。〕

○事業（務）所長用

- ☐ 工程管理に係る積極的な取組が見られた。
- ☐ その他〔理由：現場閉所により月単位の週休２日（４週８休以上）の確保に取り組んだ。〕

- 3) 現場閉所による週休２日相当（４週８休以上）が達成したことに加え、対象期間内の全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った場合は、工事成績要領別紙８に示す「７．法令遵守等」に次の評価項目を追加した上で１点を加点評価する。

○事業（務）所長用

- ☐ その他〔理由：現場閉所による週休２日（４週８休以上）の確保を行ったとともに全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った。〕

- (3) 監督職員は、受注者からの報告により現場閉所状況が４週８休以上（現場閉所率 28.5%（８日/28日）以上）と確認した場合は、履行実績取組証明書を発行するものとする。

る。

9. 現場環境の改善の試行

本工事は、誰でも働きやすい現場環境（快適トイレ）の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

(1) 内容

受注者は、現場に以下のア～サの使用を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

ただし、シ～チについては、満たしていればより快適に使用できるものと思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- ア 洋式（洋風）便座
- イ 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- ウ 臭い逆流防止機能
- エ 容易に開かない施錠機能
- オ 照明設備
- カ 衣装掛け等のフック付又は荷物の置ける棚等（耐荷重を 5 kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

- キ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ク 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ケ サニタリーボックス
- コ 鍵と洗面器
- サ 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- シ 便房内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）
- ス 擬音装置（機能を含む）
- セ 着替え台
- ソ 臭気対策機能の多重化
- タ 室内温度の調整が可能な設備
- チ 小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等）

(2) 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は上記（1）の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】ア～カ及び【付属品として備えるもの】キ～チの費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000円／基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基／工事より多く設置する場合や積算上限を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

(3) 快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議のうえ、本項の対象外とする。

10. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

(1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である。

(2) 用語の具体的な内容は次のとおりである。

ア 真夏日

日最高気温が 30℃ 以上の日をいう。

イ 工期

準備・後片付け期間を含めた工期をいう。

なお、年末年始休暇分として 12 月 29 日から 1 月 3 日までの 6 日間、8 月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の 3 日間、工場製作のみを実施している期間、

工事全体を一時中止している期間は含まない。

ウ 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

$$\text{真夏日率} = \text{工期期間中の真夏日} \div \text{工期}$$

- (3) 受注者は、工事着手前に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載した施工計画書を作成し、監督職員へ提出する。
- (4) 気温の計測方法については、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。
なお、WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上となる日を真夏日と見なす。
ただし、これによりがたい場合は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所以外の気象観測所で気象業務法(昭和27年法律第165号)に基づいた気象観測方法により得られた計測結果を用いることも可とする。
- (5) 受注者は、監督職員へ計測結果の資料を提出する。
- (6) 発注者は、受注者から提出された計測結果の資料を基に工期中の日最高気温から真夏日率を算定した上で補正値を算出し、現場管理費率に加算し設計変更を行うものとする。

$$\text{補正値(\%)} = \text{真夏日率} \times \text{補正係数}^{\ast}$$

※補正係数：1.2

11. 地域外からの労働者確保に要する間接工事費の設計変更について

- (1) 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す経費(以下「実績変更対象経費」という。)については、工事实施に当たって、積算額と実際の費用に乖離が生じることが考えられる。契約締結後、受注者の責によらない地元調整等により施工計画に変更が生じ、積算基準の金額想定では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。
営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費
労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
- (2) 発注者は、契約締結後、受注者から請負代金内訳書の提出があった場合、共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象経費の割合(以下「割合」という。)を提示する。
- (3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、発注者は別に示す実績変更対象経費に係る費用の内訳を記載した実績変更対象経費に関する実施計画書(以下「計画書」という。)(様式2)を作成し、監督職員に提出するものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する変更実施計画書(以下「変更計画書」という。)(様式3)を作成するとともに、変更計画書に記載した計上額が証明できる書類(領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書)を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「土地改良事業等請負工事積算基準に基づき算出した額」から「計画書に記載された共通仮設費(率分)と現場管理費の合計額」を差し引いた後、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。

(8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

12. 現場環境改善費

(1) 現場環境改善費の内容は以下のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上選択し合計5つの内容を実施することとする。

ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督職員と協議実施する。

なお、内容に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

(2) 以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督職員に提出するものとする。

(3) 受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を監督職員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備 ②緑化・花壇 ③ライトアップ施設 ④見学路及び椅子の設置 ⑤昇降設備の充実 ⑥環境負荷の低減
営繕関係	①現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ②労働宿舍の快適化 ③デザインボックス（交通誘導警備員待機室） ④現場休憩所の快適化 ⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ②盗難防止対策（警報器等） ③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む） ②完成予想図 ③工法説明図 ④工事工程表 ⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む） ⑥見学会等の開催（イベント等の実施含む） ⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ⑧パンフレット・工法説明ビデオ ⑨社会貢献

13. 総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）について

(1) 本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払いに伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）の対象工事である。

(2) 受発注者間で作成の上合意した単価合意書は、公表するものとする。

14. 1日未満で完了する作業の積算

- (1) 本工事における1日未満で完了する作業の積算（以下、「1日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せて1日未満となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要となる根拠資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (5) 災害復旧工事等で人工精算する場合や、「時間的制約を受ける工事の積算方法」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

15. 共通仮設費率分の適切な設計変更について

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）については、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。
 - ・ 運搬費：建設機械の運搬
 - ・ 準備費：伐開・除根・除草費
- (2) 発注者は、契約締結後、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
- (3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、実績変更対象経費に関する内訳書（以下「内訳書」という。）（様式4）を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」から「算定基準に基づき算出した額」を差し引いて算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

第15章 定めなき事項

この特別仕様書に定めない事項又は、本工事の施工にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

(様式 1)

工 期 通 知 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

分任支出負担行為担当官

九州農政局八代海岸保全事業所長 ○○ ○○ 殿

受注者 住所

商号名称

氏名

印

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	〇〇〇〇工事
工 事 場 所	〇〇県〇〇市〇〇
契約予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
工 事 の 始 期	令和〇〇年〇〇月〇〇日
工 期	工 事 の 始 期 から (〇〇〇日間) 令和 年 月 日 まで

※契約の締結までに提出すること。

※契約書には本通知書により通知した工期（工事の始期及び終期）を記載する。

(様式2)

実績変更対象経費に関する実施計画書

費 目		費 用	内 容	計上額
共 通 仮 設 費	営繕費	借上費	現場事務所、試験室、労働者 宿舎、倉庫、材料保管場所等 の敷地借上げに要する地代及 びこれらの建物を建築する代 わりに貸しビル、マンショ ン、民家等を長期借上げする 場合に要する費用	
		宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に 宿泊する場合に要する費用	
		労働者送 迎費	労働者をマイクロバス等で 日々当該現場に送迎輸送（水 上輸送を含む）をするために 要する費用（運転手賃金、車 両損料及び燃料費等含む）	
	小 計			
	現 場 管 理 費	労 務 管 理 費	募集及び 解散に要 する費用	労働者の赴任手当、労働者の 帰省旅費、労働者の帰省手当
賃金以外 の食事、 通勤等に 要する費 用			労働者の食事補助、交通費の 支給	
小 計				
合 計				

(様式3)

実績変更対象経費に関する変更実施計画書

費 目		費 用	内 容	計上額 (当初)	計上額 (変更)	差額
共 通 仮設費	営繕費	借上費	現場事務所、試験室、労働者宿舎、倉庫、材料保管場所等の敷地借上げに要する地代及びこれらの建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げする場合に要する費用			
		宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に宿泊する場合に要する費用			
		労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送（水上輸送を含む）をするために要する費用 （運転手賃金、車両損料及び燃料費等含む）			
	小 計					
現 場 管理費	労 務 管理費	募集及び解散に要する費用	労働者の赴任手当、労働者の帰省旅費、労働者の帰省手当			
		賃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助、交通費の支給			
	小 計					
合 計						

実績変更対象経費に関する内訳書

費目		費用	内容	計上額
共通仮設費	運搬費	建設機械の運搬費	建設機械の運搬等に要する費用	
	準備費	抜開・除根・除草費	準備作業に伴う伐開・除根、除草作業に要する費用	
合 計				

出来高部分払方式実施要領

1. 目的

部分払における出来高部分払方式（以下「本方式」という。）は、受発注者が相互にコスト意識を持ち、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すものである。

2. 対象工事

建設工事等契約事務取扱要領標準例（平成12年11月15日付け12経第1772号大臣官房経理課長通知）別表1（第3条関係）に規定する建設工事契約に係る業種別区分表1、13、14、17及び24に属する工事のうち部局長が認めるもので工期が180日を超えるものに係るものとする。

3. 入札・契約

(1) 部分払の回数

① 本方式の実施に当たっては、受注者が工期の始期日以降出来高に応じて部分払の請求が可能なように、工事請負契約書第37条に必要事項を記入するものとする。なお、部分払請求については部分払請求の上限回数内で受注者が工種や工区の区切りなどにも留意しながら請求することができるものである。

② 工事請負契約書第37条第1項の部分払請求の上限回数について部分払
請求の上限回数＝工期／90（端数は切り捨てとする。）

③ 国庫債務負担行為（以下「国債」という。）に係る契約の工事請負契約書第41条第3項の部分払請求の上限回数について

各会計年度の部分払請求の上限回数＝各会計年度の工期／90（端数は切り捨てとする。）

ただし、初年度においては年度末の部分払を考慮して、上記式で算定した上限回数が4になる場合を除き、上限回数に1を加える。

4. 前払金の扱い

工事請負契約書第34条に示されている前払金の支払いについては、以下によるものとする。

(1) 前払金の範囲

受注者は、請負代金額の10分の4以内の前払金の支払いを請求することができるものとする。

※ 国債に係る契約の場合の請負代金額と前払金の支払請求時期については、工事請負契約書第40条によるものとする。

(2) 前払金の支払方法

本方式による場合は、以下の条項を用いるものとする。

工事請負契約書

（前払金）

第34条 受注者は、保証事業会社と、契約書記載の工事完成の時期を保証期限とする公共工事の前払金保証事業に関する法律第2条第5項に規定する保証契約（以下「保証契約」という。）を締結し、その保証証書を発注者に寄託して、請負代金額の10分の4以内の前払金の支払いを発注者に請求することができる。

2 発注者は、前項の規定による請求があったときは、請求を受けた日から14日以内に前払金を支払わなければならない。

3 前項の規定にかかわらず、第1項の規定により請求された前払金額が請負代金額の10分の2に相当する額を超えるときは、発注者は、当該請求を受けた日から14日以内に請負代金額の10分の2に相当する額の前払金を支払うものとする。

4 受注者は、前項の規定により前払金の支払いがされた場合において、第1項の規定により請求した前払金額から受領済みの前払金額を差し引いた額に相当する額の前払金の支払いを受けるための請求をしようとするときは、あらかじめ、工事の進捗額が請負代金額の10分の2以上であることについて、発注者又は発注者の指定する者の認定を受ける、若しくは、工期が121日以上（ただし、工期270日以下の工事については、61日以上）経過していなければならない。この場合において、発注者又は発注者の指定する者は、受注者の請求があったときは、直ちに認定を行い、当該認定の結果を受注者に通知しなければならない。ただし、工事着手時において、第20条による工事の中止がある場合には、中止期間は除いて経過日数を算定するものとする。

5 発注者は、前項の認定の結果を受注者に通知した以降、同項の規定による前払金の支払いを受けるための請求があったときは、請求を受けた日から14日以内に第1項の規定により請求を受けた前払金額から支払済みの前払金額を差し引いた額に相当する額の前払金を支払わなければならない。

6 受注者は、請負代金額が著しく増額された場合においては、その増額後の請負代金の10分の4から受領済みの前払金額を差し引いた額に相当する額の範囲内で前払金の支払いを請求することができる。この場合においては、第2項から第5項までの規定を準用する。

7 受注者は、請負代金額が著しく減額された場合において、受領済みの前払金額が減額後の請負代金の10分の5に相当する額を超えるときは、受注者は、請負代金額が減額された日から30日以内にその超過額を返還しなければならない。ただし、本項の期間内に第37条又は第38条の規定による支払いをしようとするときは、発注者は、その支払額の中からその超過額を控除することができる。

8 前項の期間内で前払金の超過額を返還する前にさらに請負代金額を増額した場合において、増額後の請負代金額が減額前の請負代金額以上であるときは、受注者は、その超過額を返還しないものとし、増額後の請負代金額が減額前の請負代金額未満の額であるときは、受注者は、受領済みの前払金の額からその増額後の請負代金額の10分の5の額を差し引いた額を返還しなければならない。

9 発注者は、受注者が第7項の期間内に超過額を返還しなかったときは、その未返還額につき、同項の期間を経過した日から返還をする日までの期間について、その日数に応じ、政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和24年法律第256号。以下「支払遅延防止法」という。）第8条第1項の規定により決定された率を乗じて計算した額の遅延利息の支払いを請求することができる。

※ 国債に係る契約の場合、第40条第1項文末に下記条文を追加する。

「また、第34条第4項の（ ）内の「工期270日以下の工事」は「国債に係る契約の初年度と最終年度で当該年度の工期が180日以下の工事及び国債に係る契約の中間年度の工事」に読み替えるものとする。」

（保証契約の変更）

第35条 受注者は、前条第6項の規定により受領済みの前払金に追加してさらに前払金の支払いを請求しようとする場合には、あらかじめ、保証契約を変更し、変更後の保証証書を発注者に寄託しなければならない。

2 受注者は、前項に定める場合のほか、請負代金額が減額された場合において、保証契約を変更したときは、変更後の保証証書を直ちに発注者に寄託しなければならない。

3 受注者は、前払金額の変更を伴わない工期の変更が行われた場合には、発注者に代わりその旨を保証事業会社に直ちに通知するものとする。

(3) その他

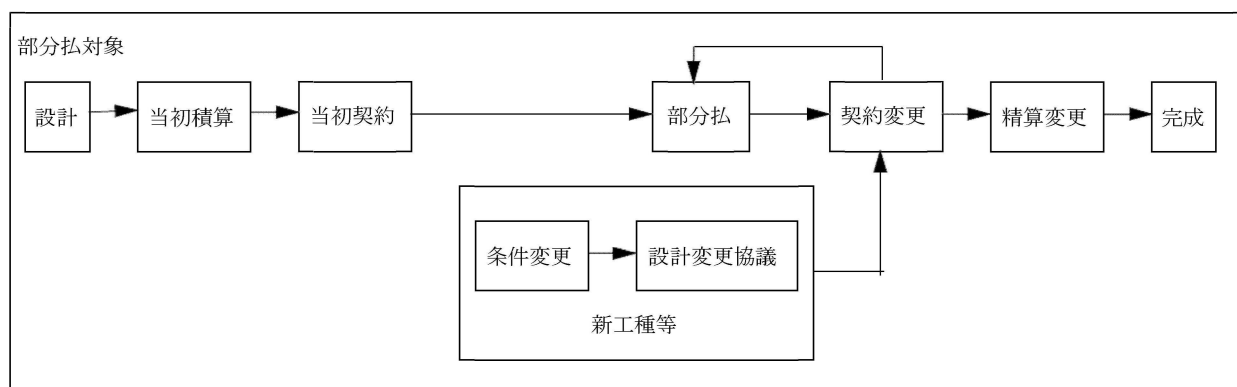
前払金の請求及び要件具備の認定様式は、別紙1～4を参考として実施するものとする。

5. 部分払

(1) 部分払の対象

部分払の対象は、工事請負契約書第37条第1項により行うものとする。

なお、新工種に係る部分及び変更減が予定されている部分については、変更契約により当該工種の追加・変更がされるまではその部分を部分払の対象とすることができない。この場合、部分払の対象とする部分に限定して数量等を確認し契約変更を行うなど、手続の簡素化を図るものとする。



(2) 工事出来高報告書等の作成（請負代金相当額の算出）

工事出来高報告書等の作成は、従来どおりの手続により実施するものとする。

6. 設計変更協議及び契約変更

設計変更協議及び契約変更に係る手続等は従来どおりとするものとする。

7. 監督

監督業務は、従来どおり実施するものとする。

8. 検査

(1) 検査職員

検査を行う職員（以下「検査職員」という。）の任命は従来どおりとする。ただし、同一工事における各検査（既済部分、完成、中間技術）（以下「各検査」という。）の検査職員の任命に当たっては、検査の重複を極力避けるため、できる限り同一の検査職員を任命するものとする。

(2) 検査の実施

① 既済部分検査

既済部分検査前に実施された各検査で確認した内容については、検査対象としないものとする。

なお、検査の実施に当たっては、中間前金払及び既済部分払等の手続の簡素化・迅速化について（平成10年12月11日付け10経第1984号大臣官房経理課長通知）等に基づき行われているところであるが、既済部分検査の迅速化・効率化の観点から、以下の事項について改めて徹底を図るものとする。

- ・ 検査を実施する際には、工事請負契約書及び設計図書のいずれにも準備の必要の根拠を持たない必要以上の関連資料の準備を求めないものとする。
- ・ 既済部分検査等を実施済みの工事目的物の部分については、工事の完成を確認するための検査を、当該既済部分検査後の変状を目視により確認すること等により行うことができるものとする。
- ・ 既済部分検査等に際しては、現場の清掃、片付け等の実施を受注者に求めないものとする。なお、これらの措置は、障害物の存在等により検査の実施に支障が生じる場合に、障害物の移動等を適宜求めることを妨げるものではないものとする。
- ・ 既済部分検査等の対象資料として準備を求めるもののうち、別途定めるものについては、当該対象資料の準備が検査の実施日までに困難な場合等には、代替する方法をもって検査を行うことができるものとする。
- ・ 既済部分検査等においては、検査当日中に写真による確認を行う必要のある場合を除き、完成写真部分の提出は後日とすることができることとする。この場合、完成写真に代わる完成状況の確認は現場での目視等によって行うこととする。
- ・ 既済部分検査等においては、工事写真についてネガ等原本の整備状況や提出対象とするもの以外の写真の整理状況を問わないものとする。
- ・ 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- ・ 監督職員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

② 完成検査

従来どおりの方法により実施するものとする。

③ 中間技術検査

中間技術検査を実施する場合は、従来どおりの方法により実施するものとする。

なお、この技術検査の時期に合わせて既済部分検査を行うことにより効率化が図られる。

令和 年 月 日

官署支出官等 殿

受注者

住 所

商号又は名称

代表者氏名

前 払 金 請 求 書

¥

ただし、令和〇年度 ○○○○○工事

請負代金額 ¥

に対する前払金

上記のとおり請求します。

なお、受領の方法については、工事請負契約書第34条第3項及び第5項の規定に基づき受領いたします。

※ 別紙2 は2 割を超える場合に本前払金請求書とともに提出すること。

別紙3 については、本工事の進捗額が請負代金額の 10 分の2 以上であること、若しくは、工期 121 日以上経過（ただし、単年度工事の工期が 270 日以下の場合、国債工事の初年度と最終年度で当該年度の工期が 180 日以下の場合、並びに国債工事の中間年度の場合については、工期が 61 日以上経過）していることについて、発注者又は発注者の指定する者に認定を受け、認定通知書を受理したのち、直ちに発注者に提出すること。

※ 前払金請求書（全体請求書 40 % 以内）は契約原本として保管。別紙2 及び3 は、支払に使用。

※ 前払金保証書は1 枚とする。（2 回保証書をつくる必要はない。）

別紙2 (4 割以内の前払金請求書とともに提出)

令和 年 月 日

官署支出官等 殿

受注者
住 所
商号又は名称
代 表 者 氏 名

前 払 金 請 求 書 (I)

¥ (工事請負契約書第34条第3項の請求金額)

ただし、令和〇年度 ○○○○○工事

請負代金額

¥

に対する前払金

指定振込銀行		預金種別	口座番号
ふりがな			
口座 名 義			

官署支出官等 殿

受注者
住 所
商号又は名称
代 表 者 氏 名

前 払 金 請 求 書 （Ⅱ）

¥ (工事請負契約書第 34 条第 5 項の請求金額)

ただし、令和 ○ 年度 ○ ○ ○ ○ ○ 工事

- 1 . 請 負 代 金 額 ¥
- 2 . 前 払 金 請 求 額 ¥
- 3 . 受領済前払金額 ¥
- 4 . 未受領前払金額 ¥

指定振込銀行		預金種別	口座番号
ふりがな			
口 座 名 義			

令和 年 月 日

契約担当官等 殿

受注者
住 所
商号又は名称
代 表 者 氏 名

出 来 高
工 事 期 間 認 定 請 求 書

1. 工 事 名 令和○ 年度 ○ ○ ○ ○ ○ 工事
2. 工 事 場 所
3. 請負代金額 ¥
4. 工 期 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

上記の工事について、工事請負契約書第 34 条第 4 項の要件を具備しておりますので、認定されるよう請求します。

（注意）出来高認定資料（出来高報告書、履行報告書等）を添付すること。（請負代金額の 10 分の 2 以上の場合）

工事工程表を添付すること。（工期 121 日以上経過（ただし、単年度工事の工期が 270 日以下の場合、国債工事の初年度と最終年度で当該年度の工期が 180 日以下の場合、並びに国債工事の中間年度の場合については、工期が 61 日以上経過）の場合）

.....

認 定 通 知 書

上記工事について認定したので通知する。

令和 年 月 日

受注者 殿

（契約担当官等の官職氏名）

令和 5 年度

八代海岸保全事業

昭和工区堤防補強工事

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 土工				
(1) 掘削工				
掘削		m3	88.000	
(2) 盛土工				
路床盛土工	4.0m>B≧2.5m B≧4.0m	m3	359.000	
(3) 残土処理				
残土処理		m3	239.000	
2. 構造物撤去工				
(1) 構造物撤去工				
舗装版破砕	コンクリート舗装 t=10 cm	m ²	735.000	
殻処理費	コンクリート殻（有筋）	m3	74.000	
コンクリート構造物取壊し	張ブロック	m3	68.000	
殻処理費	コンクリート殻（無筋）	m3	68.000	
コンクリート構造物取壊し	側溝・横断水路・水路蓋	m3	8.000	
殻処理費	コンクリート殻（有筋）	m3	8.000	
3. 地盤改良工				
(1) 地盤改良工				
地盤改良工	削孔長φ1000mm H=12.9m （二軸施工）	本	318.000	「概」
4. 護岸工				
(1) 作業土工				
床掘		式	1	
埋戻	B<1.0m	m3	85.000	
基面整正		式	1	
残土処理		m3	4.000	
5. 裏法面被覆工				

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
(1)張ブロック工				
張ブロック	t=10cm	m ²	610.000	
裏込工	再生クラッシャーラン RC-40 t=30cm	m ²	610.000	
張コンクリート	18-8-25BB t=5cm	m ²	65.000	
裏込工	再生クラッシャーラン RC-40 t=30cm	m ²	65.000	
(2)基礎コンクリート工				
コンクリート打設	18-8-40BB	m ³	16.000	
型枠工	一般型枠	式	1	
目地板	エラスチックファイラー t=10mm	m ²	2.000	
基礎砕石	再生クラッシャーラン RC-40 t=15cm	m ²	65.000	
基面整正		式	1	
(3)天端コンクリート工				
コンクリート打設	18-8-40BB	m ³	8.000	
型枠工	一般型枠	式	1	
目地板	エラスチックファイラー t=10mm	m ²	2.000	
基礎砕石	再生クラッシャーラン RC-40 t=15cm	m ²	50.000	
(4)帯コンクリート工				
コンクリート打設	18-8-25BB	m ³	3.900	
型枠工	一般型枠	式	1	
基礎砕石	再生クラッシャーラン RC-40 t=15cm	m ²	26.000	
鉄筋工	SD295 D13	ton	0.386	
6. 被覆工				
(1)被覆工	天端舗装工 (As舗装)			
表層	再生密粒度アスコン13 t=3cm	m ²	368.000	
路盤工	再生クラッシャーラン RC-40 t=23cm	m ²	368.000	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
(2)被覆工	小段舗装工 (As舗装)			
表層	再生密粒度アスコン13 t=3cm	m ²	525.000	
路盤工	再生クラッシャーラン RC-40 t=23cm	m ²	525.000	
(3)法尻道路脇コンクリート工				
コンクリート打設	18-8-40BB	m ³	4.000	
型枠工	一般型枠	式	1	
目地板	エラスチックファイバー t=10mm	m ²	4.000	
基礎碎石	再生クラッシャーラン RC-40 t=15cm	m ²	40.000	
基面整正		式	1	
7. その他				
(1)運搬費				
共通仮設 (積上げ)				
運搬費				
重建設機械分解・組立・輸送		式	1	
(2)技術管理費				
共通仮設 (積上げ)				
技術管理費				
動体観測		回	55.000	
六価クロム溶出試験	環境庁告示46号	検体	1.000	
タンクリーチング試験		検体	1.000	

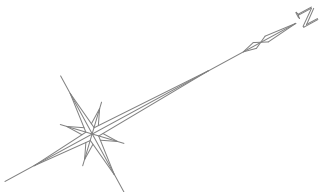
令和 5 年度 八代海岸保全事業
昭和工区堤防補強工事

縮小図面
(契約図面)

令和 5 年度 八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事			
図 番	タイトル	枚 数	備 考
1	位置図	1	
2	平面図	1	
3	標準断面図	1	
4	横断図	1	
5	地盤改良工詳細図	1	
6	裏法面被覆工詳細図	1	
7	撤去工計画図	1	
計		7	

位置図

S=1:15000

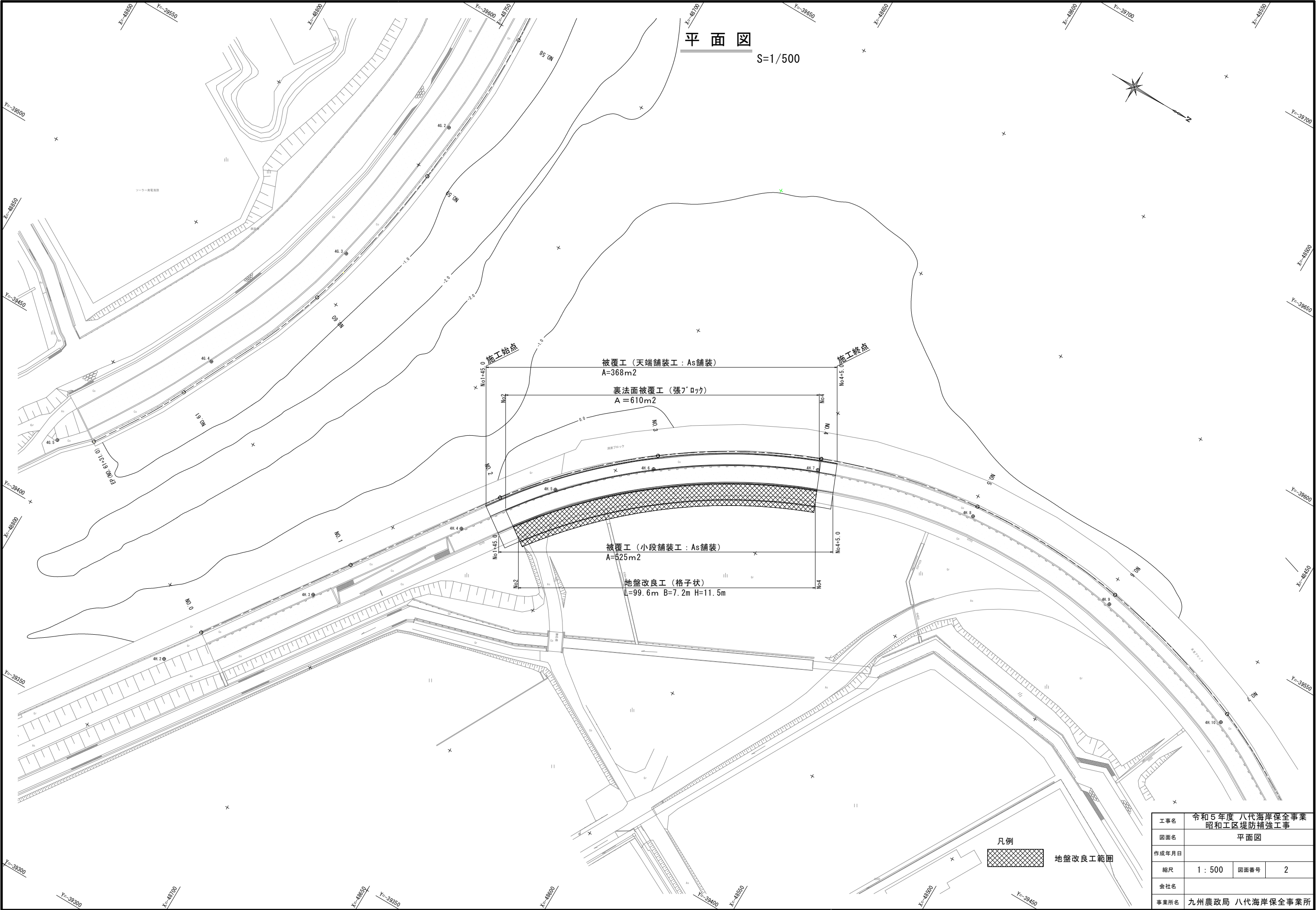


凡例

----- 搬出搬入路



工事名	令和5年度 八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:15000	図面番号	1
会社名			
事務所名	九州農政局 八代海岸保全事業所		



$S=1/200$ 

S=1/100

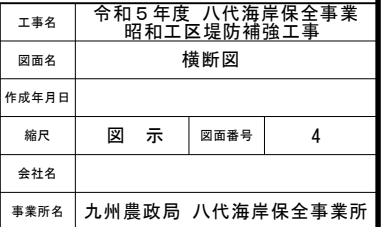


S=1/50



工事名	令和5年度 八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事		
図面名	標準断面図		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	3
会社名			
事業所名	九州農政局 八代海岸保全事業所		

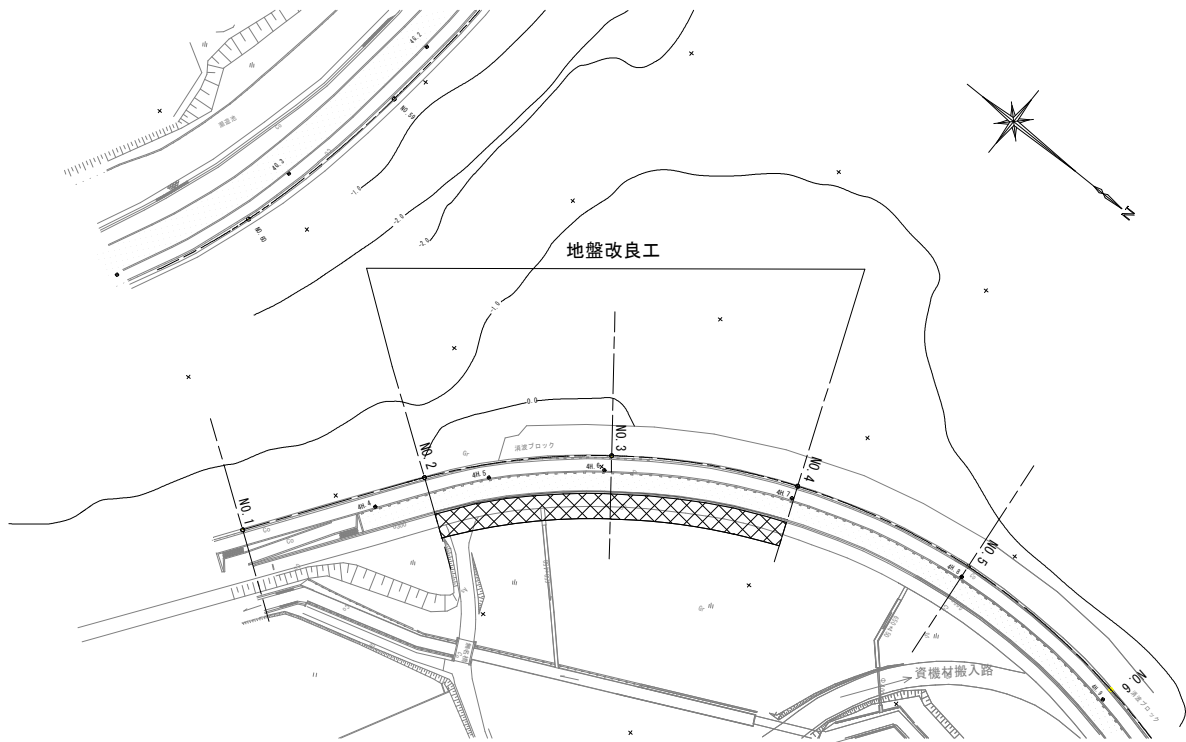
S=1/200



地盤改良工詳細図

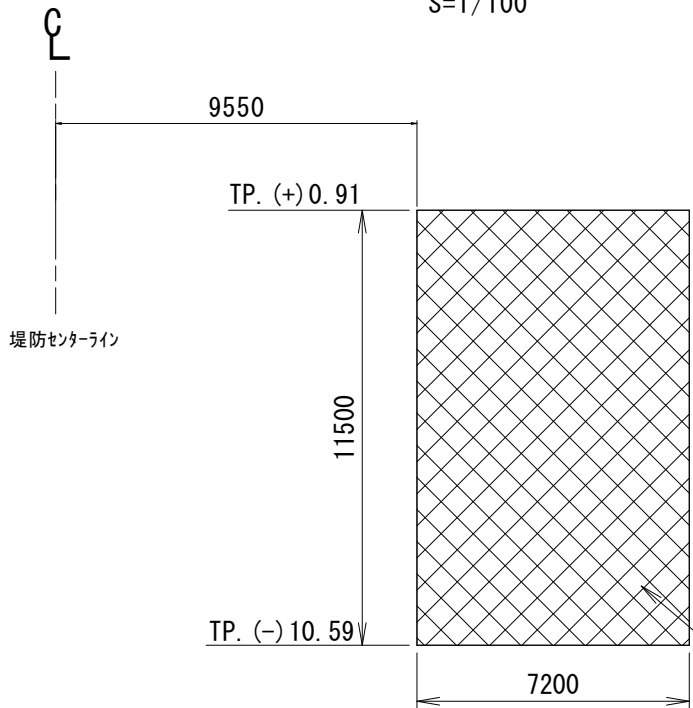
平面図

S=1/1000



断面図

S=1/100

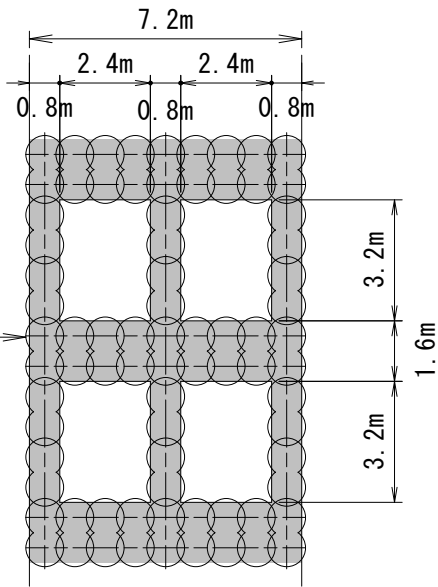


深層混合処理工法
(φ1000×2軸)

詳細図

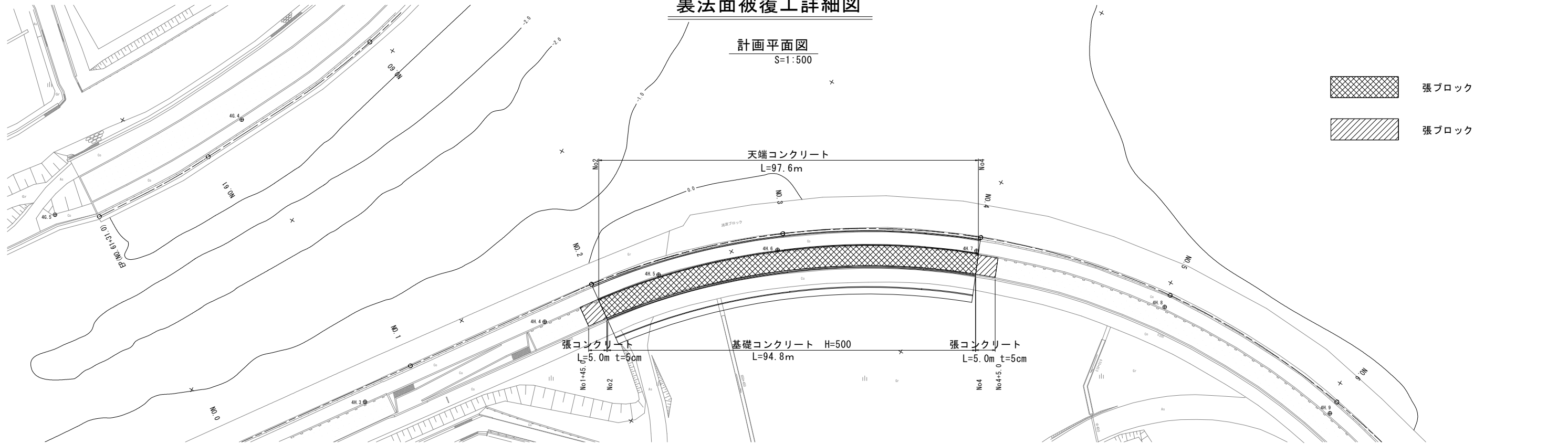
S=1/100

深層混合処理工法
格子状改良体上面図

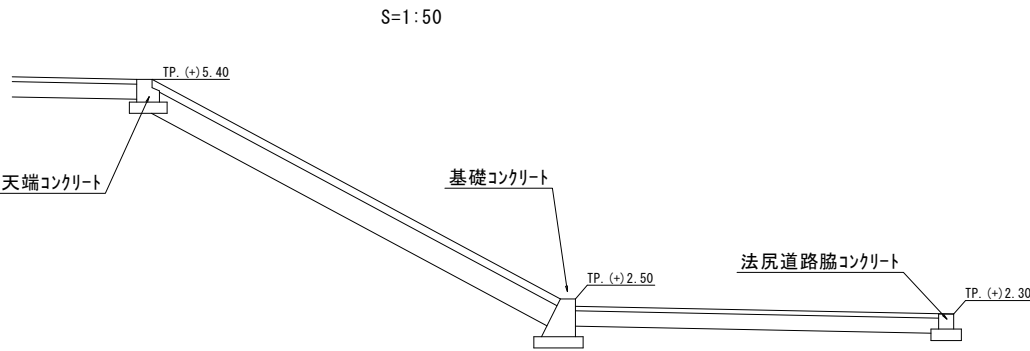


工事名	令和5年度 八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事		
図面名	地盤改良工詳細図		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	5
会社名			
事業所名	九州農政局 八代海岸保全事業所		

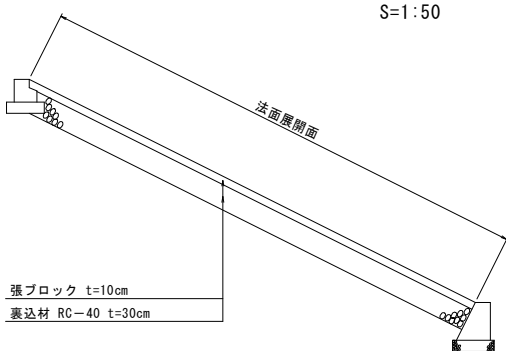
裏法面被覆工詳細図



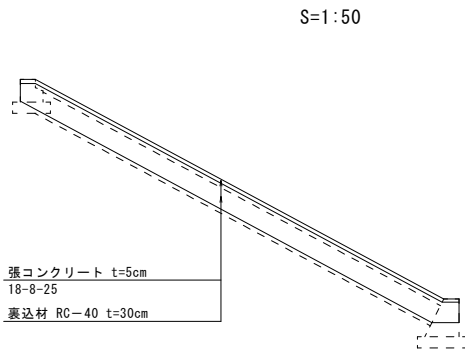
標準断面図



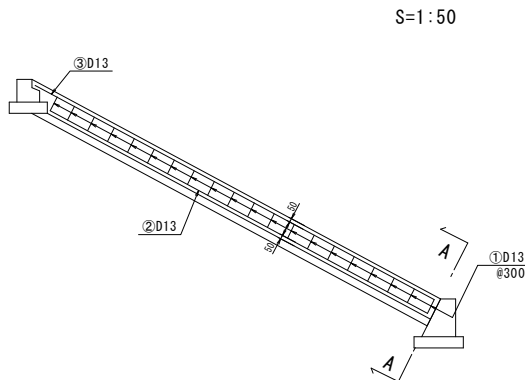
張ブロック詳細図



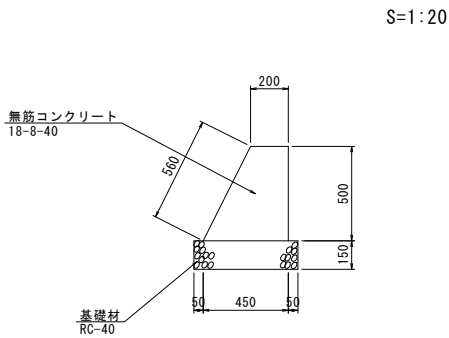
張コンクリート詳細図



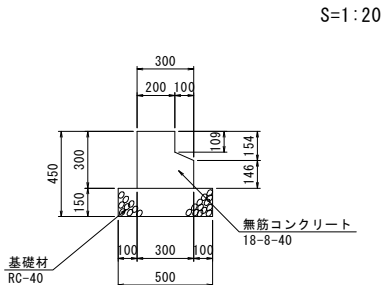
帯コンクリート標準断面図



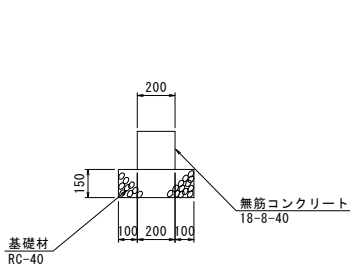
基礎コンクリート詳細図



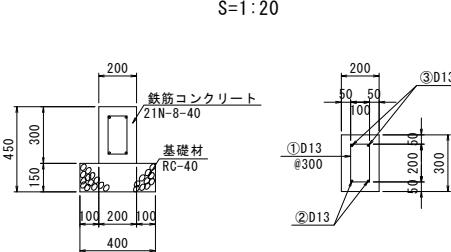
天端コンクリート詳細図



法尻道路脇コンクリート詳細図



A-A断面図



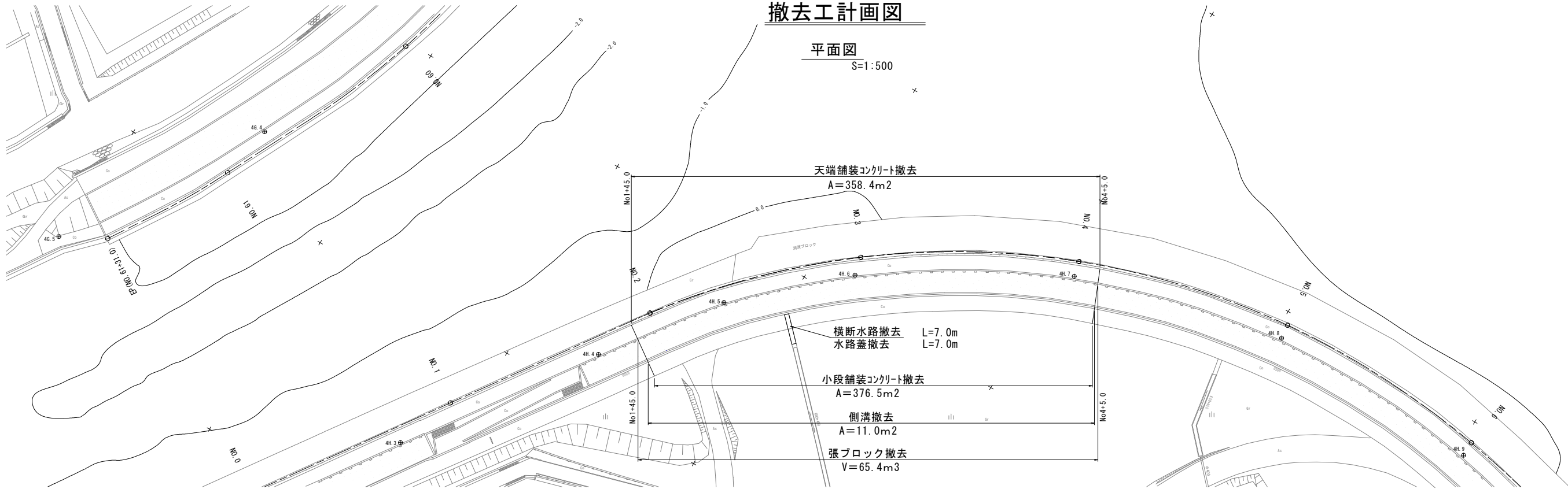
※基礎コンクリート・天端コンクリート及び法尻道路脇コンクリートには、
10mに1箇所、目地板（エラスチックフィラー）を設置する。

工事名	令和5年度 八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事		
図面名	裏法面被覆工詳細図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	6
会社名			
事業所名	九州農政局 八代海岸保全事業所		

撤去工計画図

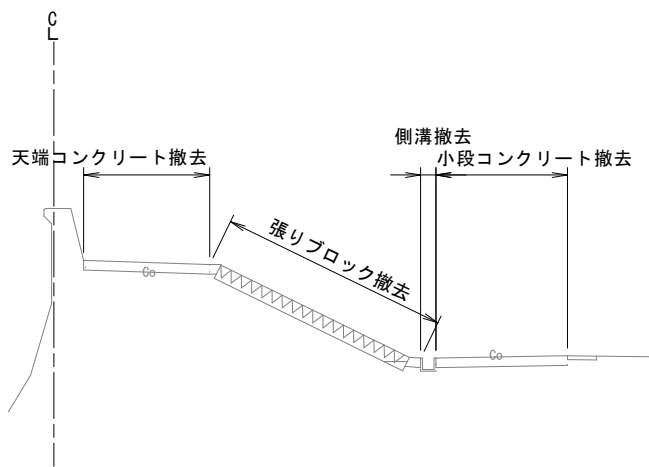
平面図

S=1:500



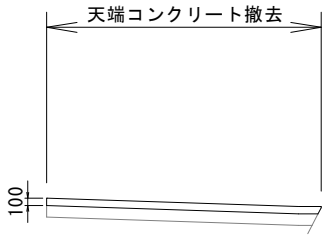
断面図

S=1:100



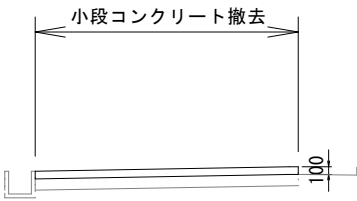
天端舗装コンクリート撤去

S=1:50



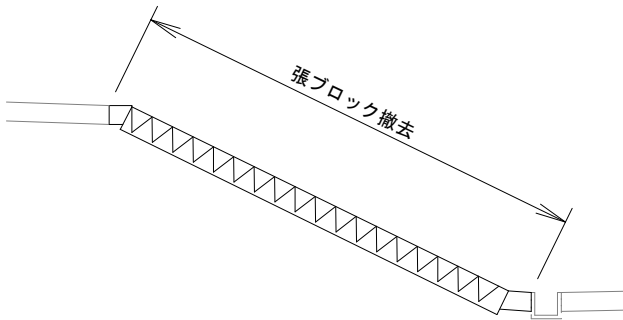
小段舗装コンクリート撤去

S=1:50



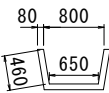
張ブロック撤去

S=1:50



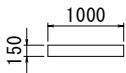
横断水路撤去

S=1:50



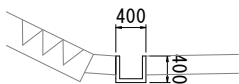
水路蓋撤去

S=1:50



側溝撤去

S=1:50



工事名	令和5年度 八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事		
図面名	撤去工計画図		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	7
会社名			
事業所名	九州農政局 八代海岸保全事業所		

令和 5 年度 八代海岸保全事業
昭和工区堤防補強工事

縮小図面
(参考図面)

令和 5 年度 八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事			
図 番	タイトル	枚 数	備 考
参考- 1	土工横断図（掘削・床掘）	1	
参考- 2	土工横断図（埋戻・盛土）	1	
参考- 3	裏法面被覆工詳細図	1	
参考- 4	プラントヤード仮設図	1	
計		4	

土工横断図（掘削・床掘）

S=1:200

DL=0.00

DL=0.00

NO. 4

GH=6.22
FH=

C

天端舗装コンクリート撤去

側溝撤去

小段舗装コンクリート撤去

護ブロック撤去

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
掘削	オープン	m2	0.90	
床掘		m2	0.93	
既設舗装撤去	As	m		
既設天端舗装撤去	Co	m	3.23	
既設小段舗装撤去	Co	m	3.42	
既設張ブロック撤去		m	6.08	
既設側溝撤去	Co	m	1.00	

DL=0.00

DL=0.00

NO. 3

GH=6.21
FH=

C

天端舗装コンクリート撤去

側溝撤去

小段舗装コンクリート撤去

護ブロック撤去

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
掘削	オープン	m2	0.84	
床掘		m2	0.90	
既設舗装撤去	As	m		
既設天端舗装撤去	Co	m	3.23	
既設小段舗装撤去	Co	m	3.39	
既設張ブロック撤去		m	6.18	
既設側溝撤去	Co	m	1.00	

DL=0.00

DL=0.00

NO. 2

GH=6.25
FH=

C

天端舗装コンクリート撤去

側溝撤去

小段舗装コンクリート撤去

護ブロック撤去

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

2%

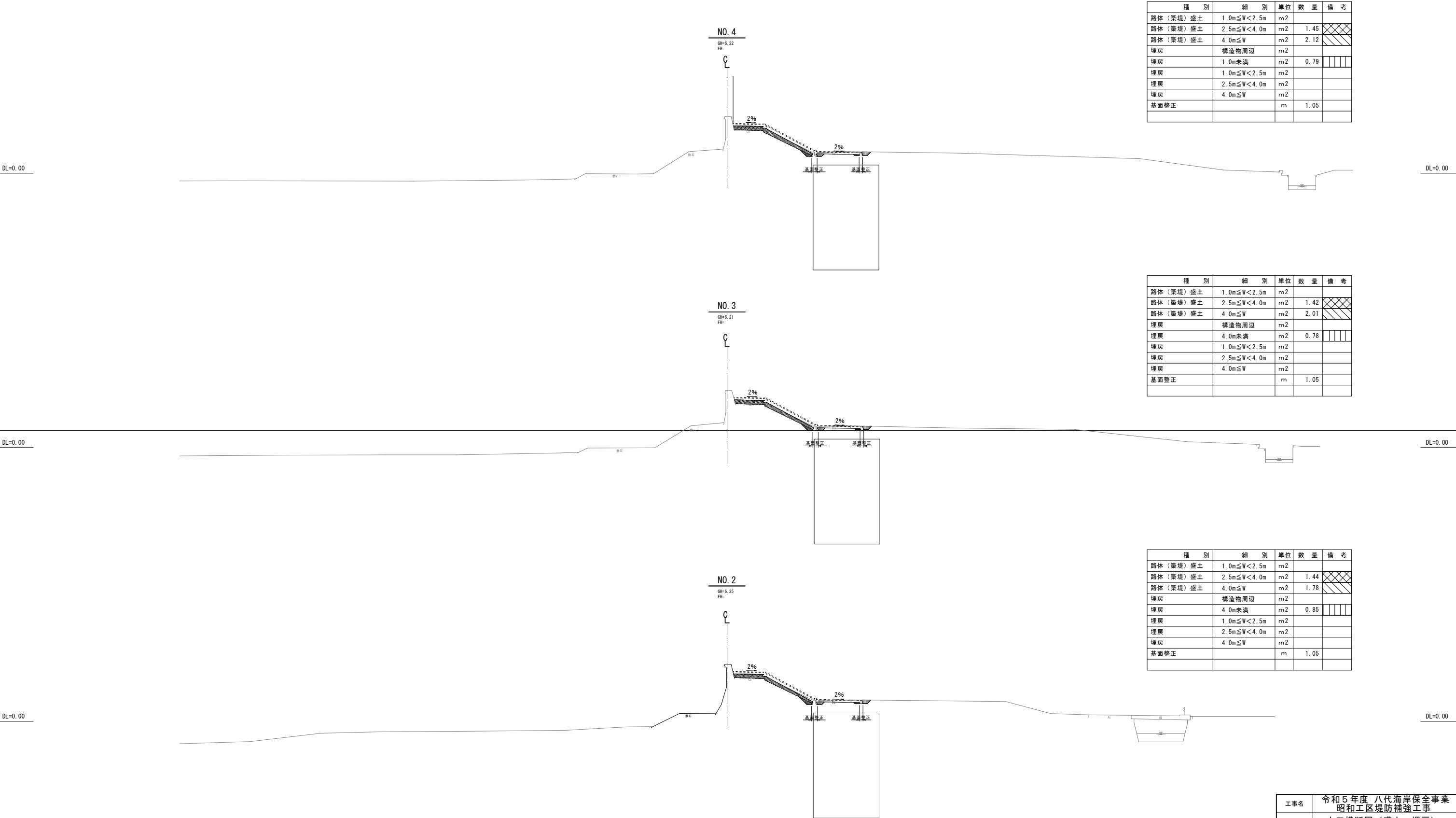
2%

種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
掘削	オープン	m2	0.77	
床掘		m2	0.97	
既設舗装撤去	As	m		
既設天端舗装撤去	Co	m	3.33	
既設小段舗装撤去	Co	m	3.48	
既設張ブロック撤去		m	6.10	
既設側溝撤去	Co	m	1.00	

工事名	令和5年度 八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事		
図面名	土工横断図（掘削・床掘）		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	参考-1
会社名			
事業所名	九州農政局 八代海岸保全事業所		

土工横断図（盛土・埋戻）

S=1:200



種 別	細 別	単位	数 量	備 考
路体（築堤）盛土	1.0m≦W<2.5m	m2		
路体（築堤）盛土	2.5m≦W<4.0m	m2	1.45	
路体（築堤）盛土	4.0m≦W	m2	2.12	
埋戻	構造物周辺	m2		
埋戻	1.0m未満	m2	0.79	
埋戻	1.0m≦W<2.5m	m2		
埋戻	2.5m≦W<4.0m	m2		
埋戻	4.0m≦W	m2		
基面整正		m	1.05	

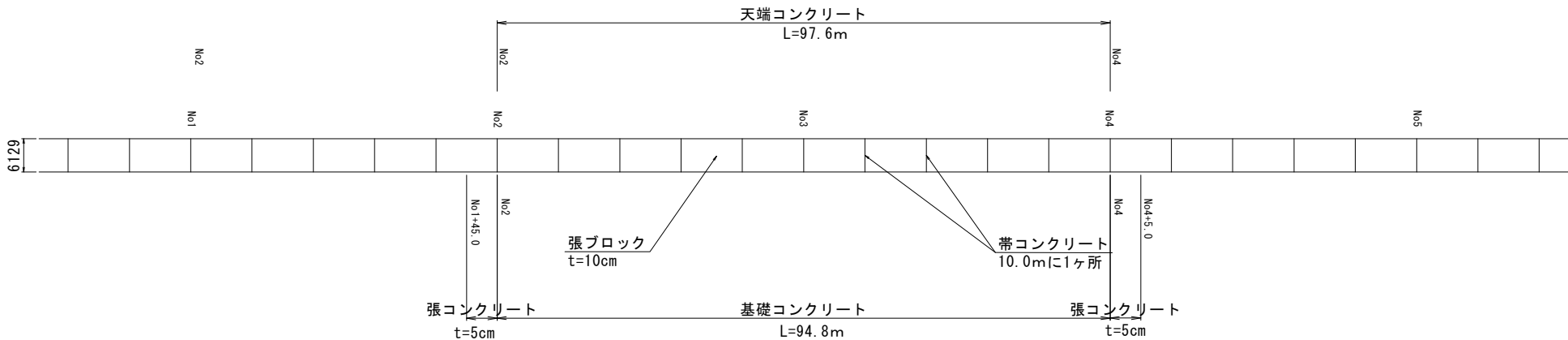
種 別	細 別	単位	数 量	備 考
路体（築堤）盛土	1.0m≦W<2.5m	m2		
路体（築堤）盛土	2.5m≦W<4.0m	m2	1.42	
路体（築堤）盛土	4.0m≦W	m2	2.01	
埋戻	構造物周辺	m2		
埋戻	4.0m未満	m2	0.78	
埋戻	1.0m≦W<2.5m	m2		
埋戻	2.5m≦W<4.0m	m2		
埋戻	4.0m≦W	m2		
基面整正		m	1.05	

種 別	細 別	単位	数 量	備 考
路体（築堤）盛土	1.0m≦W<2.5m	m2		
路体（築堤）盛土	2.5m≦W<4.0m	m2	1.44	
路体（築堤）盛土	4.0m≦W	m2	1.78	
埋戻	構造物周辺	m2		
埋戻	4.0m未満	m2	0.85	
埋戻	1.0m≦W<2.5m	m2		
埋戻	2.5m≦W<4.0m	m2		
埋戻	4.0m≦W	m2		
基面整正		m	1.05	

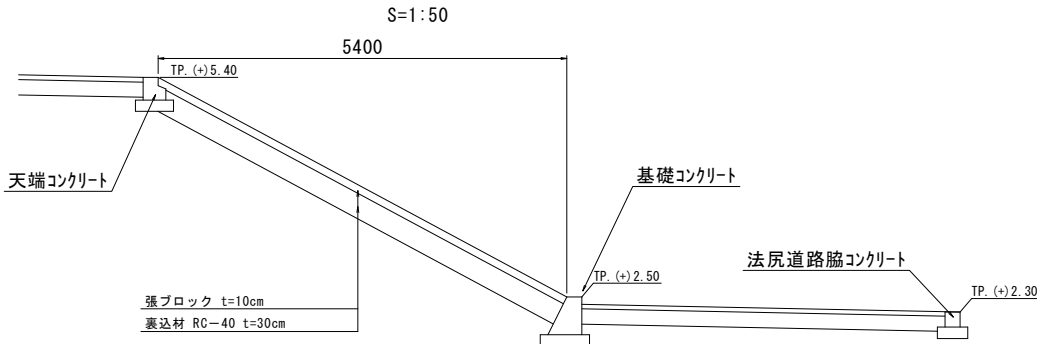
工事名	令和5年度 八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事		
図面名	土工横断図（盛土・埋戻）		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	参考-2
会社名			
事業所名	九州農政局 八代海岸保全事業所		

裏法面被覆工詳細図

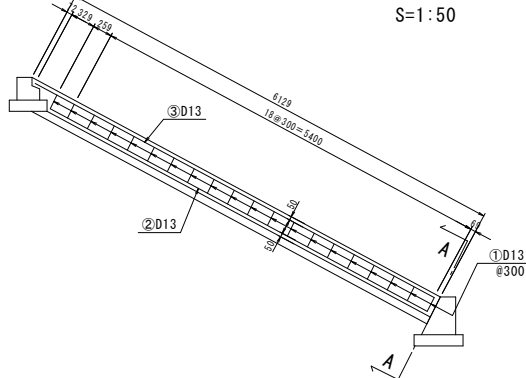
法面展開図
S=1:500



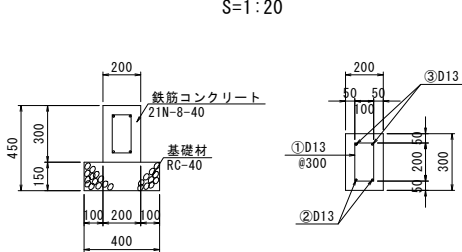
標準断面図



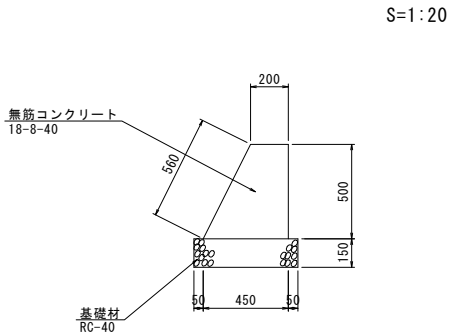
帯コンクリート標準断面図



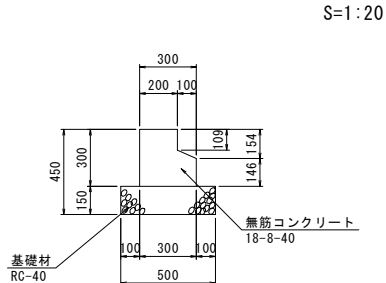
A-A断面図



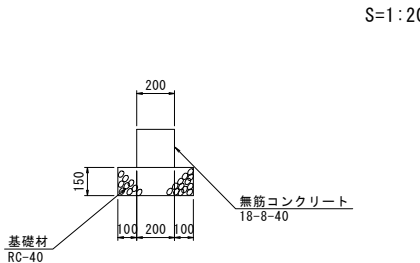
基礎コンクリート詳細図



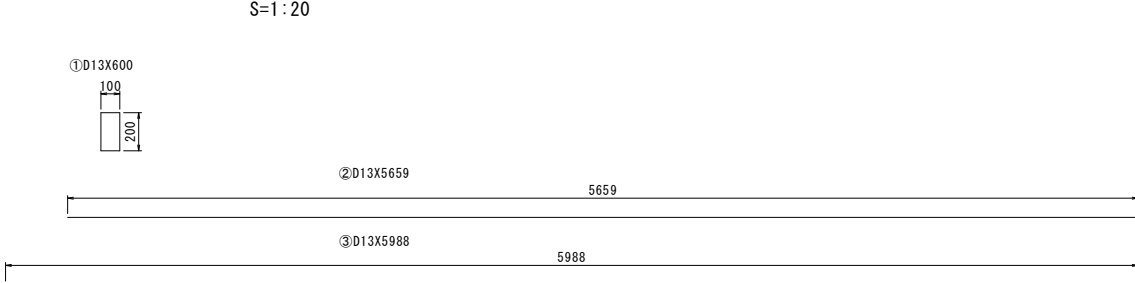
天端コンクリート詳細図



法尻道路脇コンクリート詳細図



鉄筋加工図



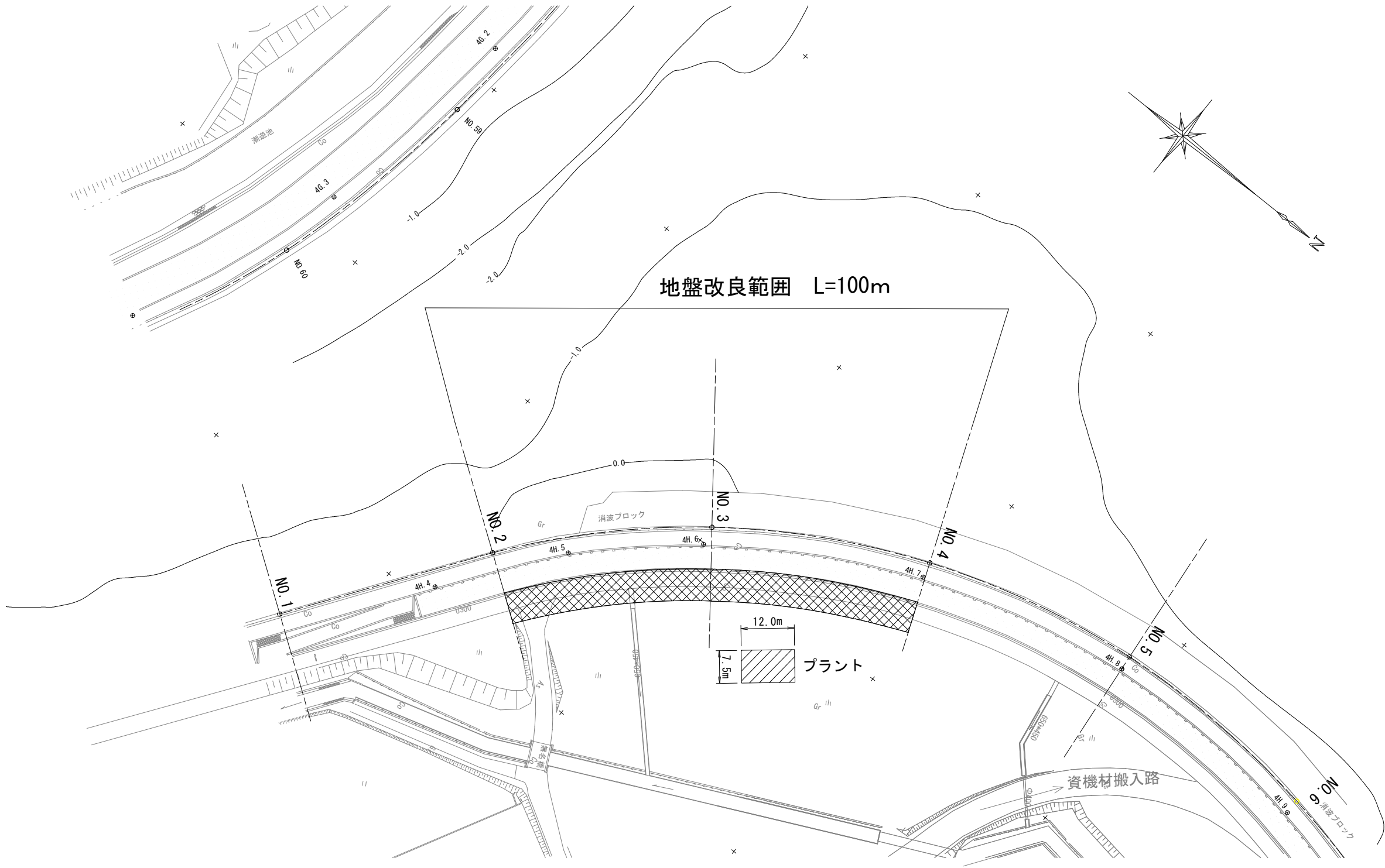
※基礎コンクリート・天端コンクリート及び法尻道路脇コンクリートには、
10mに1箇所、目地板（エラストックフィラー）を設置する。

工事名	令和5年度 八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事		
図面名	裏法面被覆工詳細図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	参考-3
会社名			
事業所名	九州農政局 八代海岸保全事業所		

プラントヤード仮設図

平面図

S=1/500



工事名	令和5年度 八代海岸保全事業 昭和工区堤防補強工事		
図面名	プラントヤード仮設図		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	参考-4
会社名			
事業所名	九州農政局 八代海岸保全事業所		